

# 『副産物（産業廃棄物・有価発生物）の状況調査』

平成27年度 電子調査票（入力システム）説明書

平成27年6月

(株) NTTデータ経営研究所



## 目 次

1. システムの概要 .....	1
1. 1 全体概要 .....	1
2. システムの起動 .....	3
2. 1 パソコンへのシステムコピー .....	3
2. 2 システムの起動 .....	4
2. 3 作業用ファイルの作成 .....	5
3. 初期画面 .....	10
4. 調査票Aのデータ入力 .....	12
4. 1 調査票A入力画面の説明 .....	12
4. 2 調査票Aの入力と登録 .....	13
4. 3 登録済みデータの表示と修正 .....	16
4. 4 データの追加入力 .....	16
4. 5 表示データのクリア .....	16
4. 6 データの保存 .....	17
4. 7 調査票B入力画面の表示 .....	17
4. 8 印刷方法の表示 .....	17
4. 9 調査票Aの表示 .....	18
4. 10 事業所毎の集計表作成 .....	20
4. 11 会社合計の集計表作成 .....	20
4. 12 調査票Aの入力終了 .....	21
5. 調査票Aの一覧表によるデータ確認と削除 .....	22
5. 1 調査票A一覧表画面の説明 .....	22
5. 2 調査票A入力画面の表示 .....	23
5. 3 登録データの削除 .....	23
6. 調査票Bのデータ入力 .....	24
6. 1 調査票B入力画面の説明 .....	24
6. 2 調査票Bの入力と登録 .....	28
6. 3 廃棄物フローと収支エラー .....	31
6. 4 登録済みデータの表示と修正 .....	34
6. 5 データの追加入力 .....	34
6. 6 表示データのクリア .....	34
6. 7 データの保存 .....	35
6. 8 印刷方法の表示 .....	35
6. 9 調査票Bの表示 .....	35
6. 10 調査票Bの入力終了 .....	37
7. 調査票Bの一覧表によるデータ確認と削除 .....	38

7. 1	調査票B一覧表画面の説明 .....	38
7. 2	調査票B入力画面の表示 .....	39
7. 3	登録データの削除 .....	39
8.	注意事項の表示 .....	40
8. 1	B票記入に当ってのお願い .....	41
8. 2	データ入力の注意事項 .....	42
9.	概念図の表示 .....	45
10.	システムの終了 .....	45
11. 1	集計表のオーバーフロー対策 .....	46
11. 2	登録データの確認 .....	48
11. 3	参考表 .....	49

## 1. システムの概要

### 1. 1 全体概要

#### (1) 入力機能

電子調査票システムは、事業所単位でデータを入力するためのシステムです。複数事業所のデータを入力することもできます。「副産物発生状況等調査」は調査票AとBの2つに分かれています。

##### ○ 副産物発生状況等調査

- ・ 調査票A（会社及び事業所の概要等）
- ・ 調査票B（副産物の種類別処理工程別データ等）

「副産物発生状況等調査」は、入力システムにより画面が順次表示され、データ入力を行います。エクセルで本電子調査票ファイルを開き、画面の指示に従ってデータを入力して下さい。なお、データ入力後には入力したデータの保存（登録）や入力結果の表示を行う機能もあります。詳細は、本説明書の4. 2と6. 2等を参照して下さい。

#### (2) 表示機能

本システムでは、「副産物発生状況等調査」の入力した結果を表示する機能もあります。

- ・ 調査票A（会社及び事業所の概要等）の表示
- ・ 調査票B（副産物の種類別処理工程別データ等）フローの表示
- ・ 事業所毎に副産物全体を集計表形式で表示
- ・ 会社合計の副産物全体を集計表形式で表示（複数事業所をこのシステムで一括入力した場合のみ可能です）

詳細は、本説明書の4. 9～11と6. 9を参照して下さい。

#### (3) 一覧機能

本システムでは、「副産物発生状況等調査」の入力したデータ一覧を表示する機能とデータを削除する機能もあります。

- ・ 調査票A（会社名、事業所名、業種番号、従業者数、製造品出荷額等）の一覧を表示
- ・ 調査票B（副産物の種類別フロー量と収支エラー）の一覧を表示

詳細は、本説明書の5. と7. を参照して下さい。

#### (4) ファイル仕様

電子調査票システムは、エクセル2000以上のバージョン上で操作する事を前提としています。

本システムには次の3業種4種類の電子調査票（入力システム）があり、業種により調査票の形式が若干異なるために入力画面構成が一部異なりますが、操作方法は全業種共通です。次頁以降に、製造業・団体調査用の電子調査票を例に操作の手順を説明します。

製造業・団体調査用	:	電子調査票製造.xls
電気業・団体調査用	:	電子調査票電気.xls
ガス業・団体調査用	:	電子調査票ガス.xls

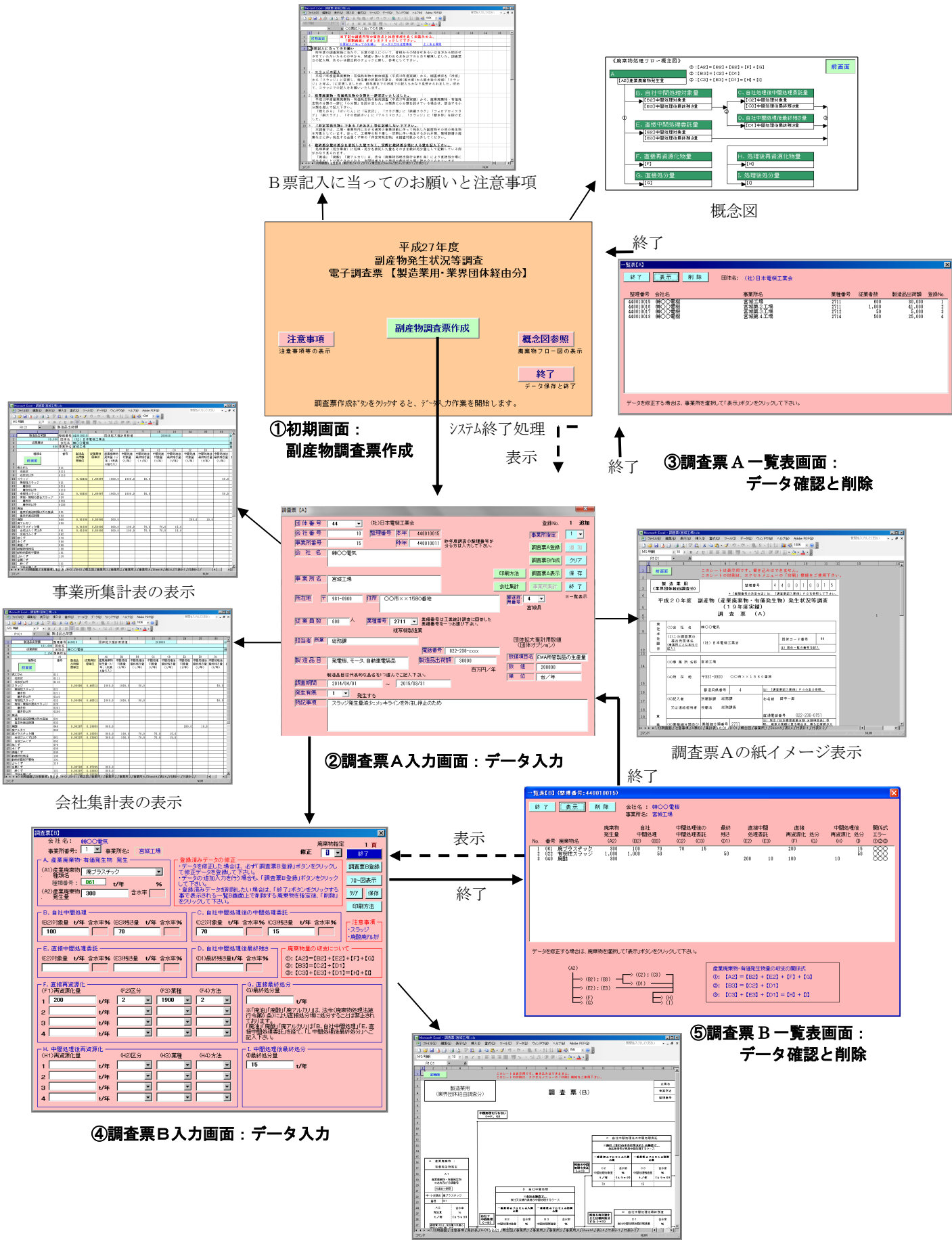


図 1.1 システム全体の流れ

## 2. システムの起動

### 2. 1 パソコンへのシステムコピー

電子調査票ファイルの使用は、電子メールの添付ファイルやCDなどによって送付される、オリジナルの電子調査票ファイルを、ご使用になるパソコンのハードディスク上にコピー（保存）してご使用下さい。配布された電子調査ファイルを直接使用すると、入力したデータを保存できませんので、ご注意下さい。

既にシステムをパソコンのハードディスクに保存されている方は2. 2へ進み、保存されていない方は、以下の媒体からのコピー、又はホームページからのダウンロードをお読み下さい。

※ パソコンのハードディスクに電子調査票ファイルをコピーする際に、**オリジナルの電子調査票ファイルの名前「電子調査票製造.xls」を絶対に変更しないで下さい。**

2. 3 作業用ファイル作成時に、システム内でこの名前を使用します。名前を変更すると、作業用ファイルが正しく作成されないので、ご注意下さい。

#### (1) 電子メールの添付ファイルからのコピー

電子調査票が添付されたメールを開きます。添付ファイルを、ハードディスクにコピーしてください(添付ファイルが圧縮されている場合は、解凍をお願いいたします)。

エクスプローラから、コピーしたファイルの中にある「電子調査票」フォルダを開き、「電子調査票製造.xls」というファイルがコピーされていれば、入力を開始いただけます。



#### (2) CDからのコピー


電子調査票ファイルのコピーは、Windows のエクスプローラ又はマイコンピュータを使用して行います。以下にエクスプローラを使用したCDからパソコンのハードディスクへのコピー方法の例を示します。手順に従ってコピーして下さい。また、コピー操作の不明な点はWindows のマニュアルをご参照下さい。

まず、エクスプローラを起動してパソコンのハードディスク上に電子調査票をコピーするためのフォルダを用意して下さい。フォルダの作成は、エクスプローラの「ファイル(F)」メニューを次の順でクリックします。

「ファイル(F)」クリック  
↓  
「新規作成(N)」 → 「フォルダ(F)」クリック

エクスプローラの右下に表示される「新しいフォルダ」の文字が表示されるので、フォルダ名を入力してEnter キー (Return キー) を押す事で新しいフォルダが作成されます。例えば「電子調査票」というフォルダを作成する例は、次の通りです。

 → 「電子調査票」入力後、Enter キー → 

次にCDをパソコンにセットして数秒待ち、エクスプローラのCDのアイコン (  ) をクリックすると、フォルダー名が表示されます。製造業の場合は、「製造業用」→「電子調査票」の順でフォルダー名をクリックして下さい。するとエクスプローラの右側に電子調査票システムのファイル名が表示されます。

・電子調査票製造.xls

表示された「電子調査票製造.xls」をクリックして反転表示(色が変わる)した後、「編集(E)」メニュー→「コピー(C)」の順でクリックして電子調査票ファイルをコピーします。

さらにパソコンのハードディスクに作成したフォルダー名「電子調査票」をクリック後、「編集(E)」メニュー→「貼り付け(P)」の順でクリックすると、フォルダー「電子調査票」に電子調査票ファイル「電子調査票製造.xls」が貼り付けられて、システムのコピー(パソコンのディスクへの保存)作業が完了します。

(3) ホームページからのダウンロード

インターネット上のホームページからの電子調査票セットのダウンロードは、アドレスを次の様に設定して、NTT データ経営研究所のホームページを開きます。

NTT データ経営研究所ホームページのアドレス：

<http://www.keieiken.co.jp/27sanpai/index.html>

※6月中旬頃に公開予定ですので、もうしばらくお待ちください。

トップページのコンサルティングサービスにおける平成27年度資源有効利用推進調査-副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等調査の項をクリックし、さらに調査票セットダウンロードの項をクリックします。表示されているページ上の選択肢より、該当する業種の電子調査票セットや記入要領等を選んで、事前に用意しておいたフォルダーにダウンロードして下さい。

## 2. 2 システムの起動

エクセルを起動してパソコンのディスクにコピーした電子調査票製造.xlsを開くことで、本システムが起動します。ファイルを開く際にマクロプログラムを有効にするか、無効にするかのメッセージが出ます。有効にして下さい。

Excel2000以上の版で使用する際に、上記メッセージが出ない場合があります。この場合マクロが実行不可になっていることが考えられますので、エクセルメニューの「セキュリティレベル」の現状の設定を以下の手順で「高」である事を確認後、設定を「高」から「中」へ変更を行い、一度Excelを閉じてから電子調査票ファイルを再度立ち上げて下さい。

- ・現状設定の確認：「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」→「セキュリティレベル」→「高」
  - ・設定の変更：「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」→「セキュリティレベル」→「中」
- ※本電子調査票システム使用後は、現状の設定へ戻しておいて下さい。

Office (Excel) 2007 を使用して電子調査票を立ち上げて電子調査票のシステムが起動しない場合は、次の手順を実行して下さい(図 2.2-1 参照)。

① セキュリティの警告「オプション」をクリック

電子調査票画面の上部に表示される「セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。」の右の「オプション」ボタンをクリックすると、「セキュリティオプション」



画面が表示されます。

## ② コンテンツを有効にする

表示された「セキュリティオプション」画面は、「不明なコンテンツから保護する」が選択されています。これを「コンテンツを有効にする」をクリック後、「OK」ボタンをクリックすると、システムが起動して「新規データ入力確認」画面が表示されます。以降は、画面に表示される手順に従ってデータを入力して下さい。なお、データ入力後、必ず「初期画面」の「終了」ボタンをクリックして、システムを終了して下さい。ファイルが旧バージョンの Excel 形式で保存されます。Excel2007 形式では、決して保存しないで下さい。

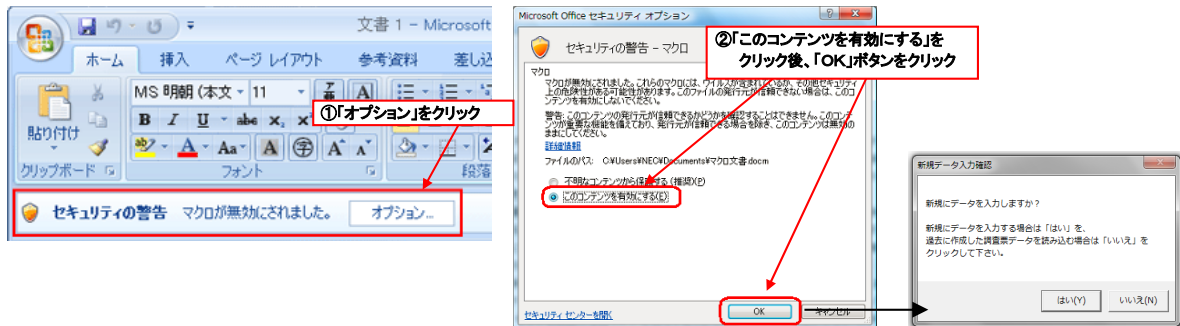


図 2.2-1 office2007 の起動時の対応方法

Office (Excel) 2010 を使用して電子調査票を立ち上げて電子調査票のシステムが起動しない場合は、次の手順を実行して下さい (図 2.2-2 参照)。

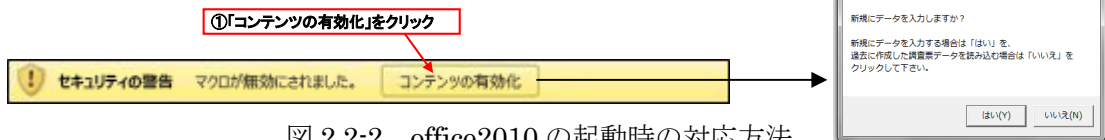


図 2.2-2 office2010 の起動時の対応方法

## 2. 3 作業用ファイルの作成

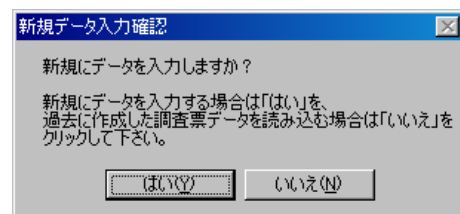
オリジナルの電子調査票ファイルを開くと、ファイル名の頭 3 文字を「調査票」とした任意な名前へ変更して保存するようにプログラミングされています。電子調査票によるデータ入力は、任意な名前へ変更した作業用ファイルを使用して、入力作業を進めて下さい。

作業用ファイルの作成は、新規ファイルの作成と、過去に作成した電子調査票ファイルのデータを取り込んだファイルの作成との 2 通り有ります。以下の手順に従って、作業を行って下さい。

### (1) 新規ファイル作成

#### ① 新規データ入力の確認

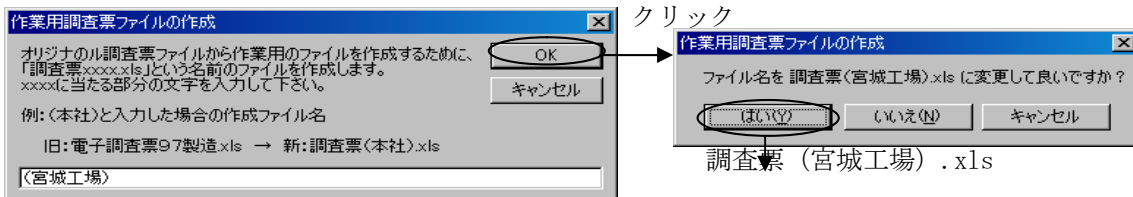
システムが起動すると、まず「新規データ入力確認」メッセージが表示されます。新規に作業用ファイルを作成する場合は、「はい」をクリックして下さい。



画面 2.3-1 「新規データ入力確認」メッセージ

#### ② 作業用ファイル名の設定

次に作業用ファイルの名前を設定するための「作業用調査票ファイルの作成」ダイアログボックスが表示されます。任意の文字列：xxxx を入力する事で、オリジナルの電子調査票ファイルから調査票入力のための作業用ファイル「調査票 xxxx.xls」が新たに作成されます。この作成されたファイルを使用して、調査票の入力作業を行って下さい。但し、作業用の調査票 xxxx.xls ファイルを起動した場合は、このボックスは表示されず初期画面 (3. 参照) が表示されます。

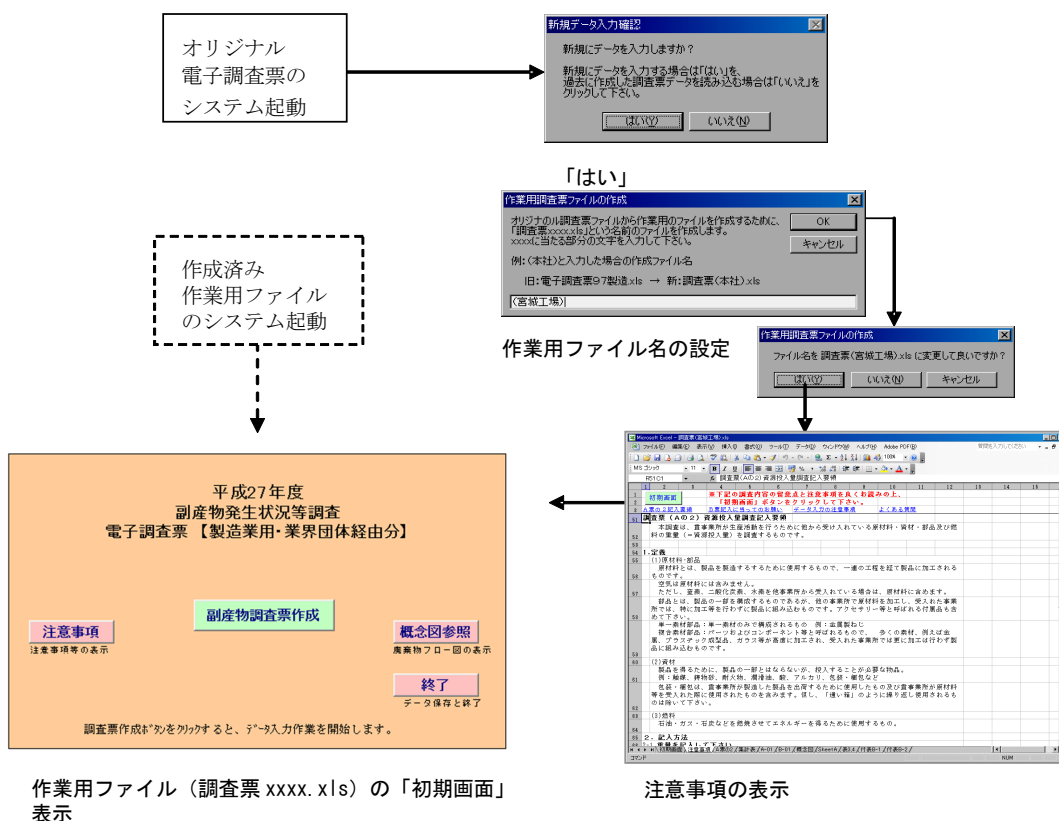


画面 2.3-2 作業用ファイル名の入力

例えば”（宮城工場）”の文字列を入力して「OK」をクリックすると、調査票（宮城工場）.xls にファイル名を変更して良いかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックするとファイル名：調査票（宮城工場）.xls の作業用ファイルが作成され、初期画面が表示されます。「いいえ」をクリックすると再度ファイル名の設定ボックスが表示され、「キャンセル」をクリックするとシステムが終了します。

③ 注意事項の表示

作業用ファイルが作成されると、「B 票記入に当たってのお願い」、「データ入力時の注意事項」、「よくある質問」が表示されます。内容をよくお読みの上、「初期画面」ボタンをクリックして下さい。「初期画面」が表示され、データの入力が可能となります。注意事項の表示は、初期画面の「注意事項」ボタンをクリックする事でも表示可能です（詳細は 8. 参照）。



画面 2.3-3 作業用ファイルの新規作成手順

## (2) 作成済み電子調査票データの取り込み

平成 25 年度までに作成した電子調査票ファイルが有り、事業所に関する調査票 A のデータや発生する廃棄物に大きな違いが無い場合は、本年度用の電子調査票にデータを取り込む事で、データ入力の手間を簡略化する事が出来ます。読み込み可能な電子調査票ファイルは、平成 25 年度までに作成した電子調査票入力システム、及び本年度用の電子調査票入力システムです。

※平成 26 年度調査の電子調査票は読み込みができませんのでご注意ください。

### ① 作成済み調査票データ取り込み確認

作成済み調査票データの読み込みは、システムが起動すると表示される「新規データ入力確認」メッセージ（画面 2.3-1）で「いいえ」をクリックして下さい。

### ② 読み込みファイル名の指定

ファイル名を指定するボックスが表示されるので、過去に作成した電子調査票ファイル「調査票 xxxx.xls」を指定して下さい（xxxx：任意の文字列）。

### ③ 作業用ファイル名の設定

次に、指定したファイル名の”xxxx”の文字列が表示された状態で「作業用調査票ファイルの作成」ダイアログボックスが表示されます。例えば、ファイル名：調査票（宮城工場）.xls の昨年度作成したファイルを指定した場合、文字列として「(宮城工場)」が表示されます（画面 2.3-2）。同じ名前のファイルを作業用ファイルとして作成する場合は、このまま「OK」をクリックし、表示される確認メッセージで「はい」をクリックすると、指定したファイルのデータを取り込んだ作業用ファイルが作成されます。ファイル名の文字列は、必要に応じて変更して下さい。

### ④ 注意事項の表示

作業用ファイルが作成されると、「B 票記入に当たってのお願い」、「データ入力時の注意事項」、「よくある質問」が表示されます。内容をよくお読みの上、「初期画面」ボタンをクリックして下さい。「初期画面」が表示され、データの入力が可能となります。注意事項の表示は、初期画面の「注意事項」ボタンをクリックする事でも表示可能です（詳細は 8. 参照）。

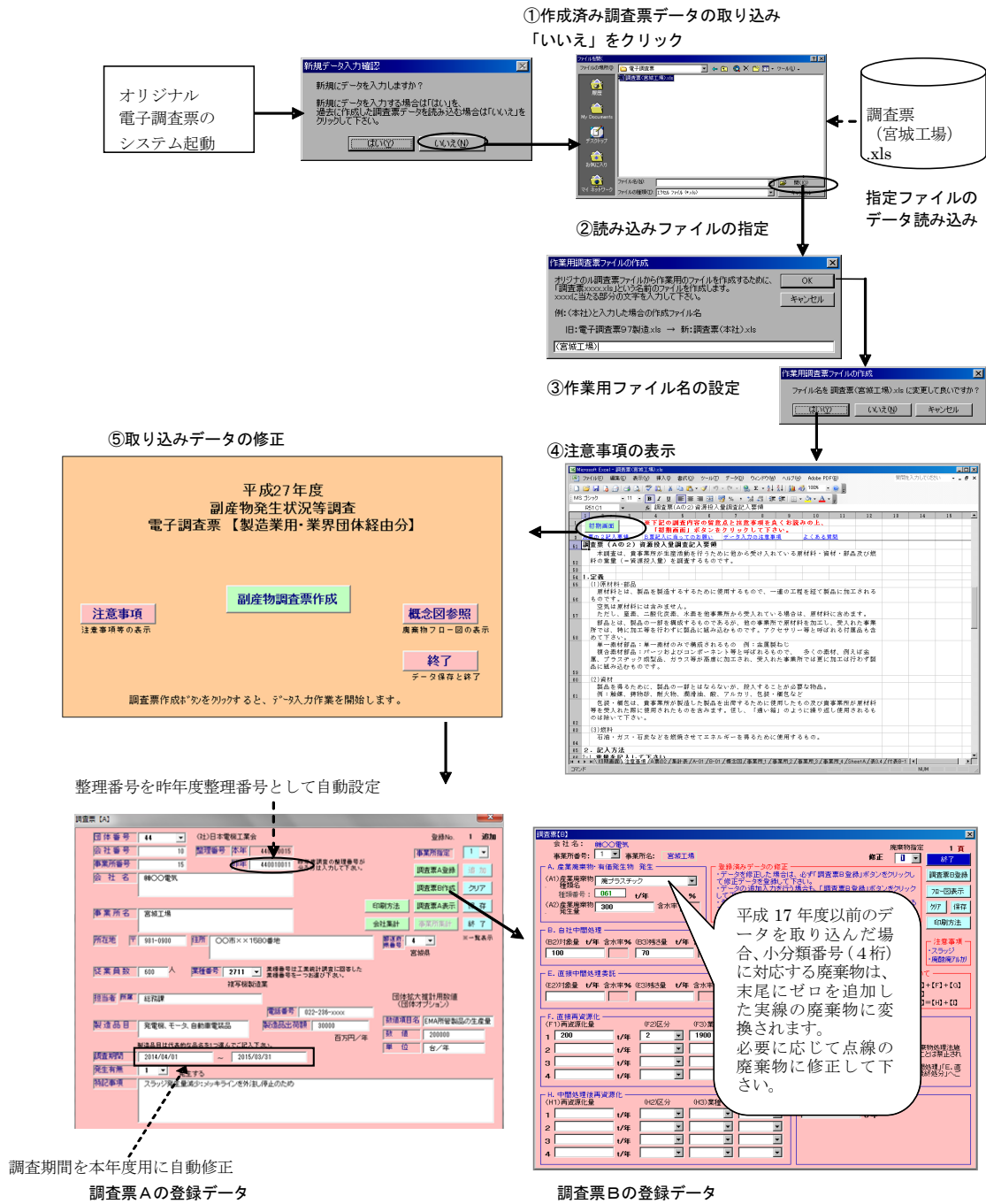
### ⑤ 取り込みデータの修正

作成された作業用ファイルは、読み込みデータを本年度の調査票に出力すると共に、次の項目が自動的に変更されます。下記以外のデータはそのまま出力されますので、不要なデータは一覧表画面の削除機能を使用して削除し、本年度のデータに修正して下さい。

- ・ 整理番号を昨年度整理番号として設定（昨年度以前の調査票データ取り込み時のみ）
- ・ 調査期間を本年度用に修正（例：2013/04/01～2014/03/31 → 2014/04/01～2015/03/31）
- ・ 平成 17 年度以前のシステムにより作成された取り込みデータの内の小分類番号（4 桁）に対応する廃棄物は、末尾にゼロを追加した廃棄物に変換（図 2.3-5 参照）。

※ 平成 17 年度の調査から「汚泥（脱水前）」の代わりに「スラッジ（脱水後の汚泥）」を調査します。汚泥のデータがある場合は、廃棄物種類名の「▼」をクリックすることで表示され

る「無機性スラッジ（石炭灰以外）」等の該当するスラッジに変更して下さい。また発生量等の値も、脱水後のスラッジの量として入力して下さい。



画面 2.3-4 作業用ファイルの作成手順

平成 18 年度調査以降の廃棄物リスト

平成 17 年度調査以前の廃棄物リスト

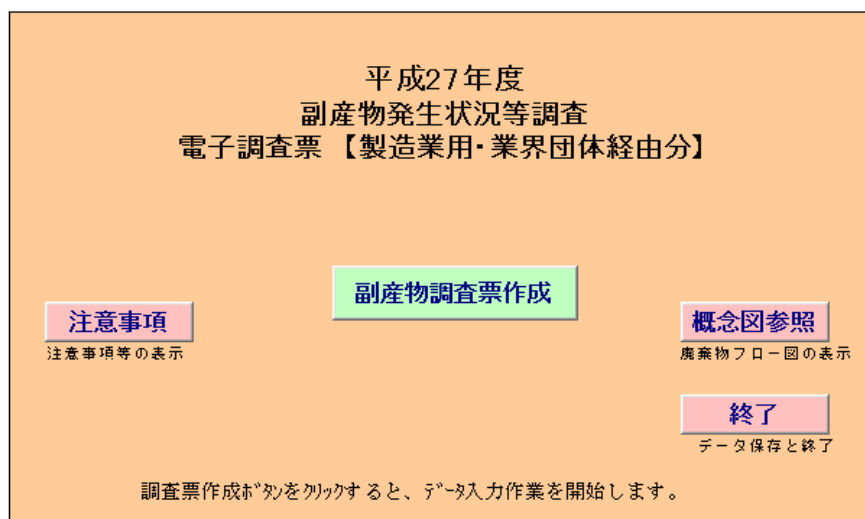
廃棄物名	番号
燃えがら	011
無機性スラッジ	021
有機性スラッジ	022
有機・無機の混合スラッジ	023
塩素系廃溶剤類以外	031
塩素系廃溶剤類	032
廃酸	040
廃アルカリ	050
廃プラスチック	061
合成ゴムくず	062
紙くず	070
木くず	080
繊維くず	090
動植物性残渣	100
ゴムくず	110
鉄くず	121
非鉄金属くず	122
ガラスくず	131
陶磁器くず	132
鋳物廃砂	141
スラグ類	142
その他の鋳さい	143
がれき類	150
動物のふん尿	160
動物の死体	170
ばいじん	180
産業廃棄物を処分する	190

廃棄物名	番号
燃えがら(石炭灰)	0111
燃えがら(石炭灰以外)	0110
無機性スラッジ(磨き砂)	0211
無機性スラッジ(磨き砂以外)	0210
有機性スラッジ	022
有機・無機の混合スラッジ(磨き砂)	0231
有機・無機の混合スラッジ(磨き砂以外)	0230
塩素系廃溶剤類以外の廃油	031
塩素系廃溶剤類	032
廃酸	040
廃アルカリ	050
廃プラスチック	061
合成ゴムくず	062
紙くず	070
木くず	080
繊維くず	090
動植物性残渣	100
動物系固形不要物	101
ゴムくず	110
鉄くず	121
非鉄金属くず	122
ガラスくず	131
陶磁器くず	132
コンクリートくず	133
鋳物廃砂	141
スラグ類(鉄鋼スラグ)	1421
スラグ類(フェロアロイスラグ)	1422
スラグ類(銅スラグ)	1423
スラグ類(鉄鋼・フェロアロイ・銅以外)	1420
その他の鋳さい(アルミドロス)	1431
その他の鋳さい(アルミドロス以外)	1430
がれき類	150
動物のふん尿	160
動物の死体	170
ばいじん(石炭灰)	1810
ばいじん(石炭灰以外)	1800
産業廃棄物を処分する	190

平成 17 年度以前のシステムを使用して作成されたデータを取り込んだ場合、小分類番号（4桁）に対応する廃棄物は、末尾にゼロを追加した**実線**の廃棄物に変換されます。必要に応じて**点線**の廃棄物に修正して下さい。

図 2.3-5 平成 18 年度調査以降の廃棄物の一部小分類化に伴う廃棄物番号の自動修正

### 3. 初期画面



画面 3-1 初期画面

システムが起動し、作業用ファイル作成（初回のみ）後に初期画面が表示されます。  
また、初期画面の下のシート上には、電子調査票システムの具体的な起動の方法の参照先が表示されています。

初期画面は、画面 3-1 に示す様に 4 つのボタンで構成されています。

「副産物調査票作成」ボタンをクリックすることで、調査票 A と調査票 B の入力、登録、削除、及び表示を行う事ができます（4. ～ 7. 参照）。

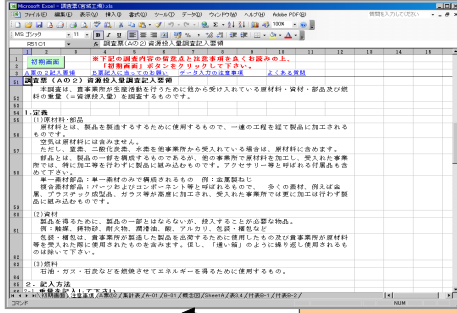
「注意事項」ボタンをクリックすると、「B 票記入に当たってのお願い」、「データ入力時の注意事項」、「よくある質問」が表示されます（8. 参照）。

「概念図参照」ボタンをクリックすると、廃棄物処理フローの概念図が表示されます（9. 参照）。

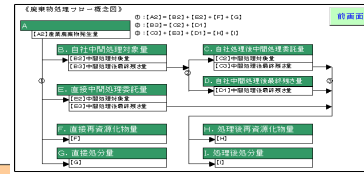
「終了」ボタンをクリックすると、システムを保存して終了します（10. 参照）。

調査票の入力を行うために、まず「副産物調査票作成」ボタンをクリックして調査票 A と調査票 B を入力して下さい。

## 注意事項の表示



## 概念図の表示



平成27年度  
産物発生状況等調査  
【製造業用・業界団体経由分】

副産物調査票作成

注意事項  
注意事項等の表示

概念図参照  
概念図の表示

終了  
データ保存と終了

調査票作成が完了すると、データ入力作業を開始します。

システム終了処理

## 調査票 A 入力画面の表示

画面 3-2 初期画面のボタン操作

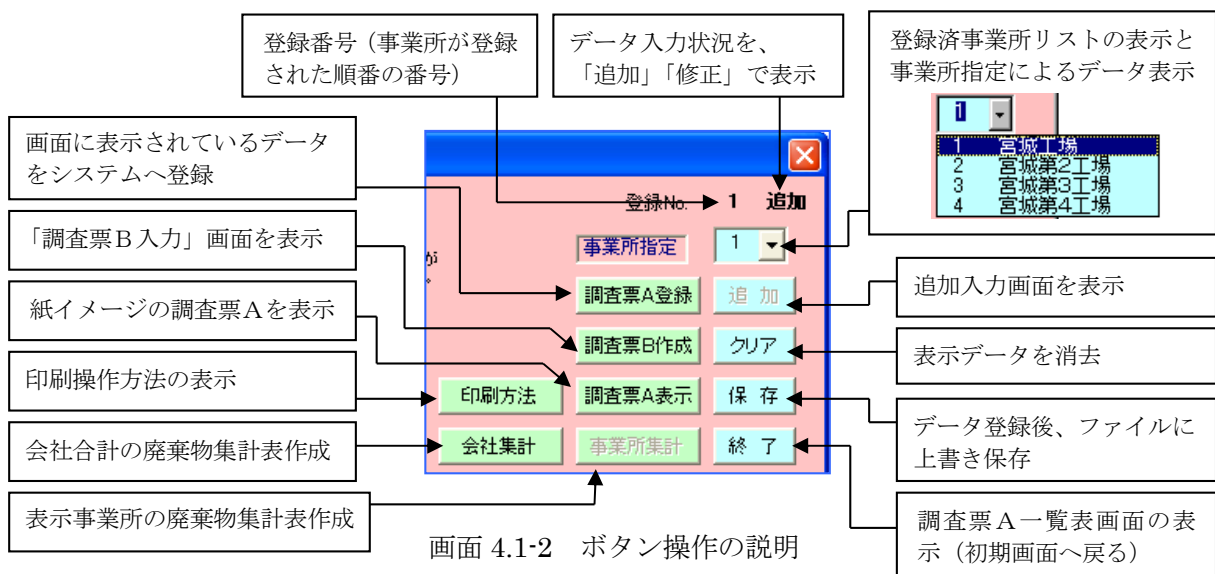
## 4. 調査票Aのデータ入力

### 4. 1 調査票A入力画面の説明

#### (1) 画面構成

初期画面上の「調査票作成」ボタンをクリックすると、「調査票A入力」画面（画面 4.1-1）が表示されます（入力画面の構成は、業種により多少異なります）。

画面 4.1-1 「調査票Aの入力」画面（製造業用）



画面 4.1-2 ボタン操作の説明



調査票Aの入力画面は、文字を入力するテキストボックス（）、▼をクリックする事で表示されるリストから項目を選択するコンボボックス（）、及び10個のボタンで構成されています。ボタン操作の説明を、画面 4.1-2 に示します。

#### (1) カーソル移動による説明表示

「調査票A入力」画面上でのカーソルを移動により、ボタン等の操作説明、記入要領に記載されている説明、調査票Aの用紙に記載されている各項目の注意書き等が表示されます。表示される内容を、画面 4.1-3 に示します。

The screenshot shows the '調査票【A】' (Survey Form A) input interface. It includes fields for '団体番号' (Group No.), '会社番号' (Company No.), '整理番号' (Order No.) with '本年' (This Year) and '昨年' (Last Year) options, '従業員数' (Number of Employees), '業種番号' (Industry No.), '担当者' (Responsible Person), '電話番号' (Phone No.), '製造品出荷額' (Manufactured Goods Shipment Amount) in '百万円/年' (Million Yen/Year), and '発生有無' (Occurrence Yes/No). A '特記事項' (Remarks) field is also present. On the right, there are buttons for '調査票A登録' (Register Survey Form A), '調査票B作成' (Create Survey Form B), '印刷方法' (Printing Method), '会社集計' (Company Summary), '事業所集計' (Facility Summary), and '終了' (End). A '登録済事業所の指定と表示' (Specify and Display Registered Facilities) section includes a '登録No.' (Registration No.) dropdown and buttons for '追加' (Add), '表示データの登録' (Register Display Data), '表示データの消去' (Delete Display Data), '保存' (Save), and '終了' (End). Callouts provide detailed instructions: '複数の業界団体に所属している場合の「調査票提出先団体の決め方」は、記入要領 P 2 参照。' (For those belonging to multiple industry associations, refer to P 2 of the instructions for how to determine the submission target group.); '平成 27 年 3 月 31 日時点の貴事業所の稼働人員数を、外注作業員も含めて記入。' (Enter the number of employees at the end of March 2015, including outsourced workers.); '複数の業種に亘る場合は、最も出荷額が大きい製造品の業種番号を選択。' (If spanning multiple industries, select the industry code for the manufactured goods with the highest shipment amount.); '貴事業所全ての製造品の出荷額を集計。(工業統計調査に回答した出荷額で結構です)' (Aggregate the shipment amount of all manufactured goods in your facility. (The shipment amount reported in the industrial statistics survey is fine.)); '事業所全体の発生量が 1t 未満の場合は、「発生無し」とする。' (If the total occurrence amount of the facility is less than 1t, set it to 'No Occurrence'.); '製造品出荷額、発生量等の大幅な増減、廃棄物・発生物の品目の変化 等がありましたら下記にご記入下さい。' (If there are significant increases/decreases in shipment amount, occurrence amount, or changes in waste/biological items, please enter them in the remarks below.); '整理番号の決定方法は、記入要領 P 2 参照' (The determination method for the order number is referred to P 2 of the instructions.); '登録済事業所の指定と表示' (Specify and display registered facilities.); '追加入力画面の表示' (Display the additional input screen.); '表示データの登録' (Register display data.); '表示データの消去' (Delete display data.); '紙イメージの調査票 A 表示' (Display Survey Form A as a paper image.); 'データ印刷方法の表示' (Display the data printing method.); '会社集計' (Company summary.); '事業所集計' (Facility summary.); '表示事業所の廃棄物集計表作成' (Create waste collection table for the displayed facility.); '調査票 A 表示' (Display Survey Form A.); '調査票 B 作成' (Create Survey Form B.); '印刷方法' (Printing method.); '終了' (End.); 'ファイルの上書き保存' (Save and overwrite file.); '調査票 A 一覧画面の表示' (Display the Survey Form A list screen.); '記入方法については、記入要領 P 4 参照' (For the input method, refer to P 4 of the instructions.); '所属団体より指示ある時のみ記入' (Enter only when instructed by the affiliated organization.); '会社合計の廃棄物集計表作成' (Create waste collection table for company total.); '表示事業所の廃棄物集計表作成' (Create waste collection table for the displayed facility.); '調査票 B 入力画面の表示' (Display the Survey Form B input screen.); 'データ印刷方法の表示' (Display the data printing method.); '業種番号は工業統計調査に回答した業種' (The industry code is the one answered in the industrial statistics survey.); '貴事業所全ての製造品の出荷額を集計。(工業統計調査に回答した出荷額で結構です)' (Aggregate the shipment amount of all manufactured goods in your facility. (The shipment amount reported in the industrial statistics survey is fine.)); '団体拡大推計用(団体オプション)' (Group expansion estimation (group option)).

画面 4.1-3 「調査票A入力画面」のカーソル移動による説明表示（製造業用）

## 4. 2 調査票Aの入力と登録

### (1) 調査票Aの入力

初期画面の「調査票作成」をクリックすると調査票Aの入力画面が追加（画面 4.1-1 の右上参照）状態が表示されますので、次に示す項目に注意してデータを順次入力して下さい（登録済データの表示は、4. 3を参照）。入力例を画面 4.2-1 に示します。

- ・ 数字項目の入力は必ず半角で、文字は全角で入力して下さい。
- ・ 入力データは団体番号（2桁）＋会社番号（4桁）＋事業所番号（3桁）の整理番号で管理されます。団体番号（所属団体の番号）を、会社番号は1企業で必ず同番号、事業所番号は1企業（番号）内で重複番号がないように入力してください。
- ・ コンボボックス(▼)で作成している項目については、必ずダウンロードより選択(▼をクリックし、メニュー内より選択)して下さい。
- ・ 郵便番号・電話番号の入力は「-」付きで行ってください。
- ・ 調査期間は、入力するテキストボックスをクリックすると自動的に 2014/04/01 ～ 2015/03/31 が表示されます。必要に応じて yyyy/mm/dd の形式で修正して下さい。

調査票【A】

団体番号 44 (社)日本電機工業会 登録No. 1 追加

会社番号 10 整理番号 本年 440010015 事業所指定 1

事業所番号 15 昨年 440010011 昨年度調査の整理番号が  
分る方は入力して下さい。

会社名 株式会社〇〇電気 調査票A登録 追加

事業所名 宮城工場 調査票B作成 クリア

所在地 〒 981-0900 住所 〇〇市××1580番地 印刷方法 調査票A表示 保存

郵便番号 4 宮城県 ※一覧表示

従業員数 600 人 業種番号 2711 業種番号は工業統計調査に回答した  
業種番号を一つお選び下さい。 複写機製造業 会社集計 事業所集計 終了

担当者 所属 総務課 電話番号 022-236-xxxx 団体拡大推計用数値  
(団体オプション)

製造品目 発電機、モータ、自動車電装品 製造品出荷額 30000 数値項目名 EMA所管製品の生産量

製造品目は代表的な品名を1つ選んでご記入下さい。 百万円/年 数値 200000

調査期間 2014/04/01 ~ 2015/03/31 単位 台/年

発生有無 1 発生する

特記事項 スラッジ発生量減少:メッキラインを外注し停止のため

画面 4.2-1 調査票Aの入力例

## (2) 入力データの登録

調査票Aのデータ入力終了したら、画面上で内容を確認し「調査票A登録」ボタンをクリックして下さい。データがシステムに登録されます。

- ※ 終了ボタンではデータが登録されません。必ず「調査票A登録」ボタンをクリックし、データを登録してください。また、会社名等の基本項目が未入力の場合、メッセージが表示されます。必ず入力をしてください。

事業所の追加入力

引き続き次の事業所を記入しますか？  
事業所の追加入力を行わない場合、「いいえ」をクリックして下さい。  
複数の事業所の入力を行う場合、「はい」をクリックして下さい。

はい(Y) いいえ(N)

画面 4.2-2 事業所の追加入力確認

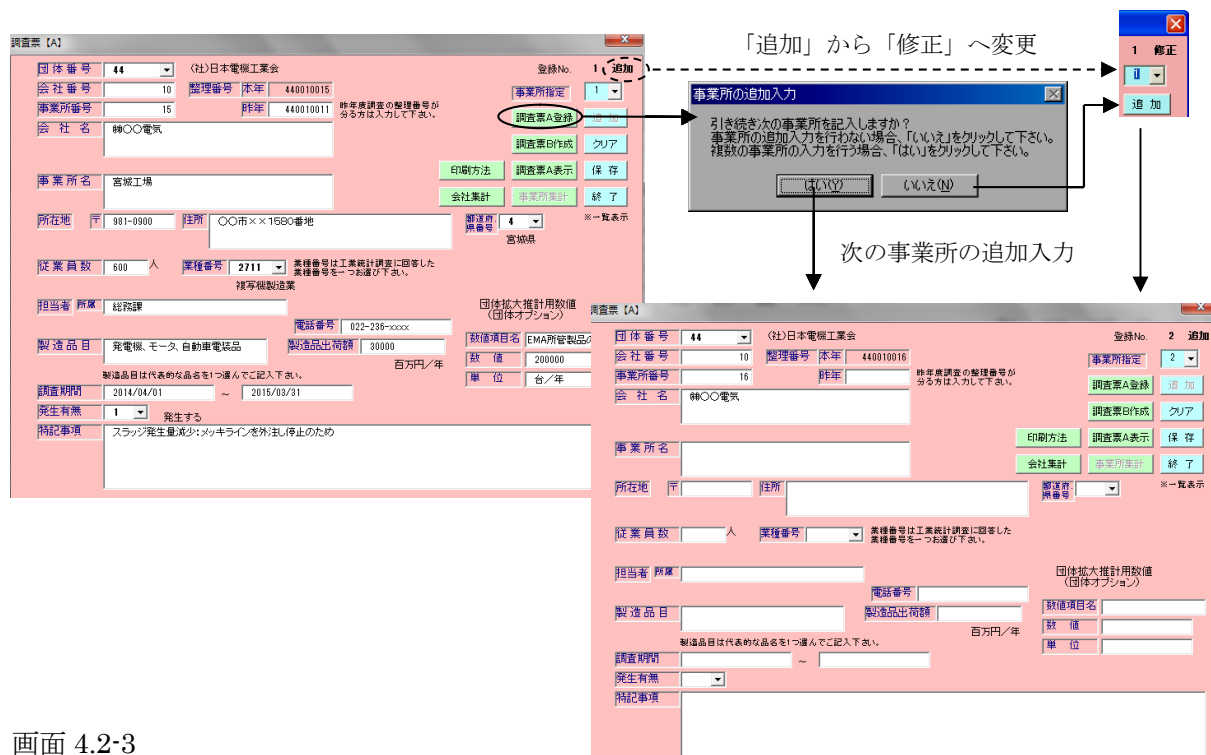
「調査票A登録」ボタンをクリックすると、画面 4.2-2 の事業所の追加入力確認メッセージが表示されます。

作業用電子調査票ファイルを事業所単位で作成している場合は「いいえ(N)」をクリックして下さい。画面右上の表示が「追加」から「修正」に変更されて、登録された事を示します。

企業担当者が自社企業複数事業所の入力を一括して行っている場合は「はい(Y)」をクリックし、次の事業所の入力を行って下さい（画面 4.2-3）。次の事業所の入力を行う前に調査票Bに廃棄物のデータを入力する場合は、「いいえ」をクリックして調査票Bを作成後、本画面に戻り「追加」ボタンをクリックして下さい。追加入力画面が表示されます。

### (3) データの追加入力

追加入力画面には、登録済みの会社番号と会社名、登録済み事業所数+1番の事業所番号が表示されます。必要に応じて変更して下さい。



画面 4.2-3

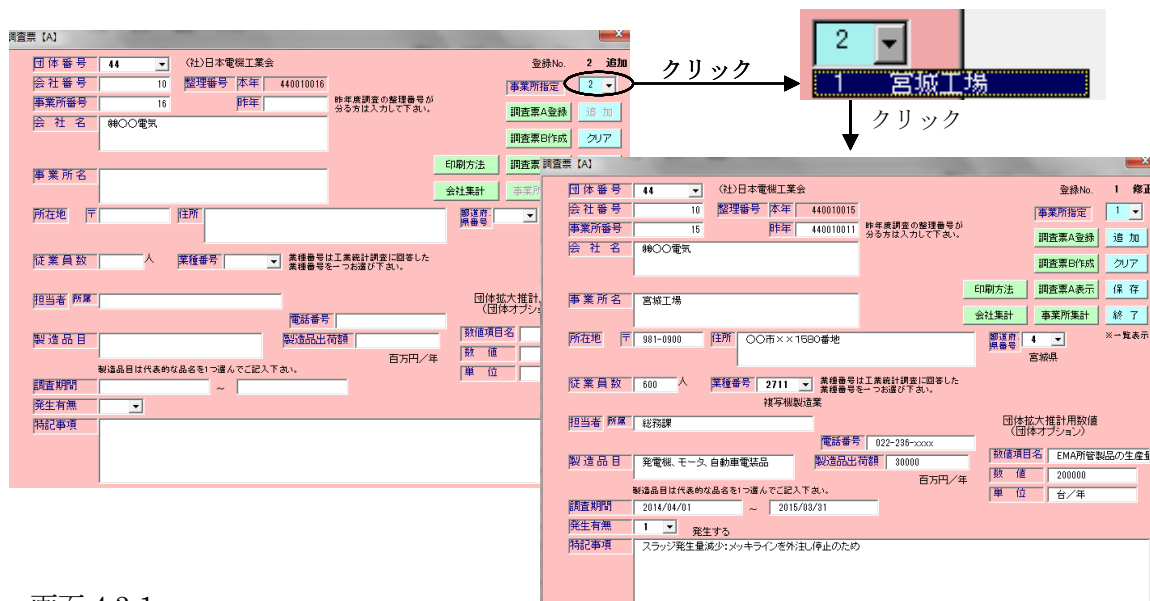
「調査票A登録」ボタン  
クリック後の流れ

※ 調査票Aのデータは、入力画面の背景として表示されている本システム内のシート：**Sheet A**に登録されます。複数の事業所を入力する場合は、データの登録状況を背景の画面で確認しながら入力して下さい。登録内容の詳細は、一旦初期画面に戻り、画面下部に表示されているシート名「Sheet A」をクリックして内容をご確認ください（11. 2参照）。確認後は、必ず画面下部に表示されているシート名「初期画面」をクリックして初期画面に戻ってから作業を再開して下さい。

#### 4. 3 登録済みデータの表示と修正

登録済みの調査票Aのデータは、調査票A入力画面右上の「事業所指定」コンボボックスのクリックにより再表示させる事ができます。「事業所指定」コンボボックスの「▼」をクリックすると登録済み事業所名リストが表示されます。表示する事業所を選択してクリックすると、登録されているデータが画面に表示されます。

表示内容を修正する場合は、データ修正後に再度「調査票A登録」ボタンをクリックして修正データを登録して下さい。



画面 4.3-1  
事業所指定コンボボックスによる  
登録済みデータの表示

#### 4. 4 データの追加入力

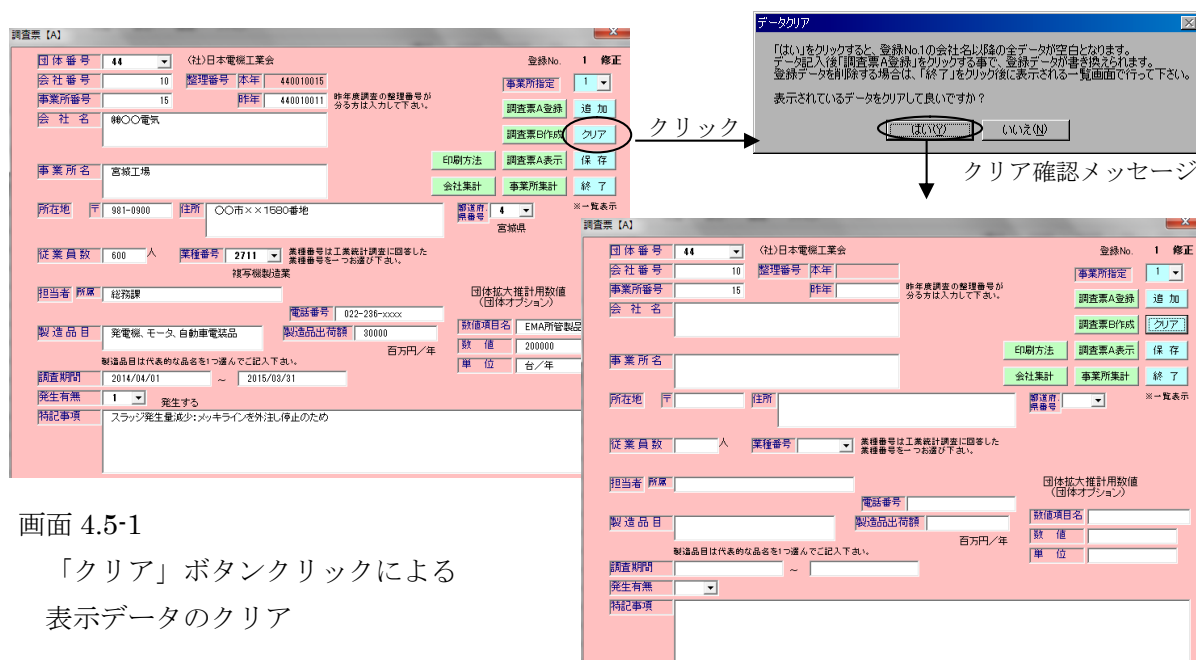
登録済みデータが表示されている「修正」の状態で「追加」ボタンをクリックすると、追加入力画面が表示され、新たな事業所のデータを追加入力できます（詳細は4. 2 (2)、(3)参照）。

#### 4. 5 表示データのクリア

調査票A入力画面上の「クリア」ボタンをクリックする事で表示される確認メッセージで「はい(Y)」をクリックすると、会社名以降の全データは空白となります（クリアされる）。

本操作では登録済みデータは変更されません。データを入力後、「調査票A登録」ボタンをクリックする事でデータがシステムに登録されます。クリア後にクリアしたデータを再表示したい場合は、「追加」ボタンをクリックして一旦入力画面を切り替えてから再度事業所指定（4. 3参照）して下さい。

登録済みデータを削除したい場合は、「終了」ボタンをクリックする事で表示される調査票A一覧表画面で行います。データ削除の詳細は、5. 3をご覧ください。



画面 4.5-1

「クリア」ボタンクリックによる  
表示データのクリア

#### 4. 6 データの保存

調査票A入力画面で「保存」ボタンをクリックする事で表示される確認メッセージで「はい(Y)」をクリックすると、データをシステムに登録後、ファイルに上書き保存されます。

「保存」ボタンでのデータ登録は、「調査票A登録」ボタンのクリックと同じです。データ登録の詳細は、4. 2と4. 3をご覧ください。

#### 4. 7 調査票B入力画面の表示

調査票A入力画面でデータ登録後、または登録済みデータ表示後に「調査票B作成」ボタンをクリックすると、調査票B入力画面が表示されます。調査票B入力画面の詳細は、6. をご覧ください。

#### 4. 8 印刷方法の表示

調査票A入力画面上の「印刷方法」ボタンをクリックすると、登録データの印刷操作方法のメッセージ『調査票Aの印刷は、「調査票A表示」ボタンをクリックして調査票Aを表示した状態で、エクセルのファイルメニュー「印刷」をクリックして下さい。』が表示されます。

調査票Aの入力データの印刷は、パソコンとプリンターの機種による設定の違いに対応する為に、エクセルの印刷機能を使用してデータを印刷します（詳細は4. 9参照）。

#### 4. 9 調査票Aの表示

調査票A入力画面で「調査票A表示」ボタンをクリックして調査票Aを表示する事で紙イメージでの登録内容の確認と印刷を行う事ができます。データ登録後、または登録済みデータ表示後に「調査票A表示」ボタンをクリックして下さい。さらに表示された表示確認メッセージで「はい」をクリックすると、調査票A入力画面に表示されているデータの調査票Aが画面に表示されます（画面 4.9-1）。

表示された画面右のスクロールバーを上下に移動させる事で票の全体を見ることができます（画面 4.9-2、画面 4.9-3）。

また、エクセルの印刷機能（「ファイル(F)」メニュー→「印刷(P)」）を使用して調査票Aの全体（白地の部分）を印刷（A4版縦）する事ができます。

調査票A入力画面に戻る場合は、画面左上の「前画面」ボタンをクリックして下さい。

※ 表示されている調査票Aに直接文字を書き込む事はできませんのでご注意ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
1		前画面	このシートは表示用です。書き込みはできません。 このシートの印刷は、エクセルメニューの「印刷」機能をご使用下さい											
2														
3		製造業用 (業界団体経由調査分)					整理番号							
4		*「整理番号の決定方法」は、「調査票記入要領」P2を参照して下さい。												
5		平成27年度 副産物（産業廃棄物・有価発生物）発生状況等調査												
6		（26年度実績）												
7		調 査 票 （ A ）												
9	負社本 社関係	(1)会社名												
12		(2)この調査票の 提出先団体名 (事業所ごとに本社で記入)								団体コード番号				
13			注) 団体一覧の番号を記入											
14		(3)事業所名称												
15		(4)所在地	〒											
16			都道府県番号								注) 「調査票記入要領」P4の表2参照。			
17		(5)連絡担当部署	所属部課								直通電話番号		-	-
18														
19														

画面 4.9-1 調査票Aの表示（製造業用の表面上部）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
19		食 事 業 所 関 係	(6)業種細分類及び 主な製造品目	業種細分類番号				注)別添「日本標準産業分類 分類項目表」参照。 複数の業種に亘る場合は、最も出荷額が大きい製 造品の細分類を選択。						
20			(7)製造品出荷額	兆	億	百万	(単位: 百万円/年)	注)重要業所全ての平成26年度製造品出荷額合計 を記入下さい。 (平成25年度工業統計調査に回答した出荷額でも 結構です)						
21				主な製造品目 (数品目程度)										
22			(8)従業員数					(単位: 人)	注)平成27年3月31日時点の重要業所の従業員数 を、外注作業員も含めて記入下さい。					
23														
24			(9)団体ごとの 拡大推計に用いる 数値 (団体オプション)							(数値の項目名を記入)				
25										注)所属団体より指示ある時のみ記入				
26			(10)調査対象期間	平成 年 月 日			～	平成 年 月 日			(1年間)			
27				注)対象期間が平成26年4月1日～平成27年3月31日からずれた場合のみ記入。										
28			(11)本調査の対象となる産業 廃棄物・有価発生物の 発生の有無 (○で囲んで下さい)	発生する			発生しない			注)重要業所全体の発生量合計が1t未 満の場合は無しとする。				
29														
30		*業種細分類は、別添の「日本標準産業分類 平成19年11月改定 分類項目表」を参考に記入下さい。												
35		*「製造品出荷額」は必ず記入下さい。 当該年度の製造品出荷額が不明の場合には、「工業統計調査」に回答した出荷額(平成26年暦年)でも構いま せん。「工業統計調査」は、経済産業省が法律に基づいて製造業に属する事業所(従業員4人以上の事業所につ いては毎年全数調査)を対象に実施しています。「工業統計調査」は、市町村の調査員が食事業所を訪問し、調 査票の配布、回収を行う形で毎年実施されておりますので、その数値をご確認下さい。												

画面 4.9-2 調査票Aの表示 (製造業用の表面下部)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
43		※前年度回答に比べ数値が大きく変動している場合は、原因等を裏面にコメント下さい。										
44		特記事項記入欄										
45		1. 製造品出荷額、発生量等の大幅な増減、廃棄物・発生物の品目の変化 等										
46		データが前年度データと大きく異なっている場合、記入ミスの可能性を考えて、確認のため問合せさせて いただいております。										
47		集計もれ、記入ミス等もありますが、原因が一部生産ラインの新増設、中止等によるもので、結果として 数値としては間違いない場合も多々あります。確認のために貴重なお時間を割いていただくこととなります ので、ご面倒でも、大きく変動した場合、その原因等を下欄に、特記事項としてコメントいただければ大変 幸いです。										
48		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>										
49												
50												
51												
52												
53												
54												
55												
56												
57												
58												
59												
60												
61												
62												
63												
64												
65												
66												
67												
68												
69												

画面 4.9-3 調査票Aの表示 (製造業用の裏面)

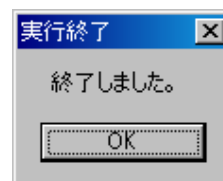
#### 4. 10 事業所毎の集計表作成

調査票A入力画面で「事業所集計」ボタンをクリックする事で、調査票B入力画面で登録した廃棄物別データを、廃棄物の種類を行方向に廃棄物処理工程を列方向に集計した集計表を作成します。

調査票B入力画面で廃棄物データ登録後、調査票A入力画面へ戻り「事業所集計」ボタンをクリックすると、集計表を作成後、実行終了メッセージが表示されるので、「OK」をクリックして下さい。集計表が画面に表示されます。

調査票A入力画面に戻る場合は、画面左上の「前画面」ボタンをクリックして下さい。

表示された画面右と下のスクロールバーを上下左右に移動させる事で表の全体を見ることができます。また、エクセルの印刷機能（「ファイル(F)」メニュー→「印刷(P)」）を使用して集計表の分割印刷（A4版横）をする事ができます。



画面 4.10-1  
実行終了メッセージ

1	2	3	4	5	6	7	15	16	24	25	33	34	35	36	37	38	39
1	製造品出荷額	整理番号	010001001	製造品出荷額原単位	90.00900							団体拡大推計用数値	0				010001001
2	100.000	団体名	(社)日本染色協会														
3	従業員数	会社名	株式会社 〇〇工業														
4	1,111	事業所名	〇〇事業所														
5		A1		A2	B2	B9	C2	C9	E2	E9	D1	F1	F1	F1	F1	F1	F1
6	種類名	番号	製造品出荷額原単位	従業員数原単位	産業廃棄物発生量 (t/年: 4捨5入)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)	直接再資源化自社内 (t/年)	直接再資源化有償譲渡 (t/年)	直接再資源化無償譲渡 (t/年)	直接再資源化処理費 (t/年)	直接再資源化自社保管 (t/年)	直接再資源化不明 (t/年)
7	燃えかた	011	0.00111	0.09991	111.0	111.0	11.0	2222.0	22.0	111.0		22.0					1110.
8	石炭灰	0111	0.00111	0.09991	111.0	111.0	11.0	2222.0	22.0	111.0		22.0					1110.
9	石炭灰以外	0110															
10	スラッジ		0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0					288.
11	無機性スラッジ	021	0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0					288.
12	磨き砂	0211															
13	磨き砂以外	0210	0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0					288.
14	有機性スラッジ	022															
15	有機・無機の混合スラッジ	023															
16	磨き砂	0231															
17	磨き砂以外	0230															
18	廃油																
19	塩素系廃溶剤(軽油)以外の廃油	031															
20	塩素系廃溶剤類	032															
21	廃酸	040	0.00333	0.29973	333.0	333.0											
22	廃アルカリ	050															
23	廃プラスチック類																
24	合成ゴムくず以外	061															
25	合成ゴムくず	062															
26	紙くず	070															
27	木くず	080															
28	繊維くず	090															
29	動植物残渣	100															

画面 4.10-1 事業所毎の廃棄物全体の集計表（製造業用）

※ 表示されている集計表に直接文字を書き込む事はできませんのでご注意ください。

集計表は、集計を実行する度に数値が最新の値に書き換えられますので、必要な方は必ず印刷して下さい。集計表に直接文字を書き込む事はできませんが、文字をコピーする事は可能です。企業内で集計表を別途使用したい場合は、集計表全体を選択してコピー後、別ファイルのシートに貼り付けてご使用下さい。

#### 4. 11 会社合計の集計表作成

調査票A入力画面で「会社集計」ボタンをクリックする事で、本システムに登録されている全事業所の廃棄物データを、廃棄物の種類を行方向に廃棄物処理工程を列方向に集計した集計表を作成します。この会社集計は、複数事業所をこのシステムで一括登録した場合に、会社合計の集



計結果を見たいときに行きます。

「会社集計」ボタンをクリックすると、会社全体の集計表を作成後、実行終了メッセージが表示されるので、「OK」をクリックして下さい。集計表が画面に表示されます。

調査票A入力画面に戻る場合は、画面左上の「前画面」ボタンをクリックして下さい。

表示された画面右と下のスクロールバーを上下左右に移動させる事で表の全体を見ることができます。また、エクセルの印刷機能（「ファイル(F)」メニュー→「印刷(P)」）を使用して集計表の部分印刷（A4版横）をする事ができます。

※ 表示されている集計表に直接文字を書き込む事はできませんのでご注意下さい。

集計表は、集計を実行する度に数値が最新の値に書き換えられますので、必要な方は必ず印刷して下さい。

1	2	3	4	5	6	7	15	16	24	25	33	34	35	36	37	38	39	
1	製造品出荷額	整理番号	010001	製造品出荷額原単位	90.00900							団体総大推計用数値	0				010001	
2	100,000	団体名																
3	従業員数	会社名	株式会社 株式会社															
4	1,111	事業所名	株式会社															
5		A1																
6	種別名	番号	製造品 出荷額 原単位	従業員数 原単位	A2 産業廃棄物 発生量(t/ 年:未満 4捨5入)	B2 中間処理 対象量 (t/年)	B3 中間処理後 最終残さ量 (t/年)	C2 中間処理 対象量 (t/年)	C3 中間処理後 最終残さ量 (t/年)	E2 中間処理 対象量 (t/年)	E3 中間処理後 最終残さ量 (t/年)	D1 中間処理後 最終残さ量 (t/年)	F1 直接 再資源化 自社内 (t/年)	F1 直接 再資源化 有償譲渡 (t/年)	F1 直接 再資源化 無償譲渡 (t/年)	F1 直接 再資源化 処理費 (t/年)	F1 直接 再資源化 自社保管 (t/年)	F1 直接 再資源化 不明 (t/年)
7	燃えかた	011	0.00111	0.09991	111.0	111.0	11.0	2222.0	22.0	111.0		22.0						1110.
8	石炭灰	0111	0.00111	0.09991	111.0	111.0	11.0	2222.0	22.0	111.0		22.0						1110.
9	石炭灰以外	0110																
10	スラッジ		0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0						288.
11	無機性スラッジ	021	0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0						288.
12	磨き砂	0211																
13	磨き砂以外	0210	0.01000	0.90009	1000.0	2222.0		2222.0		2222.0		2222.0						288.
14	有機性スラッジ	022																
15	有機・無機の混合スラッジ	023																
16	磨き砂	0231																
17	磨き砂以外	0230																
18	廃油																	
19	塩素系廃溶剤類以外の廃油	031																
20	塩素系廃溶剤類	032																
21	廃酸	040	0.00999	0.29979	999.0	999.0												
22	廃アルカリ	050																
23	廃プラスチック類																	
24	合成ゴムくず以外	061																
25	合成ゴムくず	062																
26	紙くず	070																
27	木くず	080																
28	繊維くず	090																
29	動植物性残渣	100																

画面 4.11-1 会社合計の集計表（製造業用）

#### 4. 12 調査票Aの入力終了

調査票A入力画面で「終了」ボタンをクリックすると、入力した調査票Aの主要データの一覧を表示した調査票A一覧表画面が表示されます。入力したデータを確認してください。

※ 終了ボタンではデータが登録されません。データを入力した場合は、必ず「調査票A登録」ボタンをクリックしてデータを登録後、終了してください。

## 5. 調査票Aの一覧表によるデータ確認と削除

### 5. 1 調査票A一覧表画面の説明

整理番号	会社名	事業所名	業種番号	従業者数	製造品出荷額	登録No.
440010015	㈱〇〇電機	宮城工場	2711	600	30,000	1
440010016	㈱〇〇電機	宮城第2工場	2711	1,000	41,000	2
440010017	㈱〇〇電機	宮城第3工場	2712	50	5,000	3
440010018	㈱〇〇電機	宮城第4工場	2714	500	25,000	4

データを修正する場合は、事業所を選択して「表示」ボタンをクリックして下さい。

画面 5.1-1 「調査票A一覧表」画面（製造業用）

調査票A入力画面上の「終了」ボタンをクリックすると、調査票A一覧表画面が表示されます。

調査票A一覧表画面には、入力された調査票Aの整理番号、会社名、事業所名、業種番号、従業者数、製造品出荷額、登録番号の一覧が表示されます。調査票A一覧表画面には、選択したデータを修正するために調査票A入力画面を表示する機能と、選択したデータを削除する機能があります。詳細は、5. 2及び5. 3をご覧ください。

業種番号、従業者数、製造品出荷額のいずれかが空白な場合は、一覧表画面の下にメッセージが赤字で表示されます（画面 5.1-2）。業種番号と製造品出荷額は業種別データ集計時に、従業者数はデータチェック時に使用します。これらの3つは可能な限り設定して下さい。

整理番号	会社名	事業所名	業種番号	従業者数	製造品出荷額	登録No.
440010015	㈱〇〇電機	宮城工場	2711	600	30,000	1
440010016	㈱〇〇電機	宮城第2工場		1,000	41,000	2
440010017	㈱〇〇電機	宮城第3工場	2712	50	5,000	3
440010018	㈱〇〇電機	宮城第4工場	2714	500		4

※業種番号、製造品出荷額が空白の事業所が2件あります。値を設定してください。

画面 5.1-2 空白データの値設定メッセージ

## 5. 2 調査票A入力画面の表示

調査票A一覧表画面で事業所を選択後に「表示」ボタンをクリックする事で、選択した事業所の調査票A入力画面が表示されます。

表示データを選択後クリック

画面 5.2-1  
調査票A入力画面による選択データの表示

整理番号	会社名	事業所名	業種番号	従業者数	製造品出荷額	登録No.
440010015	㈱○○電機	宮城工場	2711	800	30,000	1
440010016	㈱○○電機	宮城第2工場	2711	1,000	41,000	2
440010017	㈱○○電機	宮城第3工場	2712	50	5,000	3
440010018	㈱○○電機	宮城第4工場	2714	500	25,000	4

## 5. 3 登録データの削除

調査票A一覧表画面で事業所を選択して「削除」ボタンをクリックすると削除確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると選択した事業所の登録済み調査票Aデータと調査票Bデータが削除されます。一度削除されたデータは元に戻りませんので、ご注意ください。

削除データを選択後クリック

画面 5.3-1  
登録済みデータの削除

整理番号	会社名	事業所名	業種番号	従業者数	製造品出荷額	登録No.
440010015	㈱○○電機	宮城工場	2711	800	30,000	1
440010016	㈱○○電機	宮城第2工場	2711	1,000	41,000	2
440010017	㈱○○電機	宮城第3工場	2712	50	5,000	3
440010018	㈱○○電機	宮城第4工場	2714	500	25,000	4

## 6. 調査票Bのデータ入力

### 6. 1 調査票B入力画面の説明

**調査票【B】**

会社名: ㈱〇〇電気  
 事業所番号: 1 事業所名: 宮城工場

廃棄物指定 1 頁  
 追加 [ ] 終了 [ ]

**A. 産業廃棄物・有機発生物 発生**

(A1)産業廃棄物種類名 [ ]  
 種類番号: [ ] t/年 %  
 (A2)産業廃棄物発生量 [ ] 含水率 [ ]

**廃棄物データの追加入力**

- ・廃棄物の種類名を選択して、発生量、処理量、再資源化量、処分量を順に入力後、「調査票B登録」ボタンをクリックして下さい。
- ・既に登録済みの廃棄物を表示する場合は、右上の廃棄物指定の「▼」をクリックして廃棄物を指定して下さい。
- ・青字の項目をクリックするとその定義が、「▼」をクリックして項目を選択するとその項目の具体例が表示されます(表示内容をクリックすると、必要に応じてスクロールバーが表示されます)。

**B. 自社中間処理**

(B2)対象量 t/年 含水率% (B3)残さ量 t/年 含水率%  
 [ ] [ ] [ ] [ ]

**C. 自社中間処理後の中間処理委託**

(C2)対象量 t/年 含水率% (C3)残さ量 t/年 含水率%  
 [ ] [ ] [ ] [ ]

**D. 自社中間処理後最終残さ**

(D1)最終残さ量t/年 含水率%  
 [ ] [ ]

**廃棄物量の収支について**

①: [A2]=[B2]+[E2]+[F]+[G]  
 ②: [B3]=[C2]+[D1]  
 ③: [C3]+[E3]+[D1]=[H]+[I]

**E. 直接中間処理委託**

(E2)対象量 t/年 含水率% (E3)残さ量 t/年 含水率%  
 [ ] [ ] [ ] [ ]

**F. 直接再資源化**

(F1)再資源化量 (F2)区分 (F3)業種 (F4)方法

1	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
2	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
3	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
4	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]

**G. 直接最終処分**

(G)最終処分量 [ ] t/年

※「廃油」「廃酸」「廃アルカリ」は、法令(廃棄物処理法施行令第6条)により直接処分場に処分することは禁止されています。  
 「廃油」「廃酸」「廃アルカリ」は「B. 自社中間処理」「E. 直接中間処理委託」を経て、「I. 中間処理後最終処分」へご記入下さい。

**H. 中間処理後再資源化**

(H1)再資源化量 (H2)区分 (H3)業種 (H4)方法

1	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
2	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
3	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]
4	[ ] t/年	[ ]	[ ]	[ ]

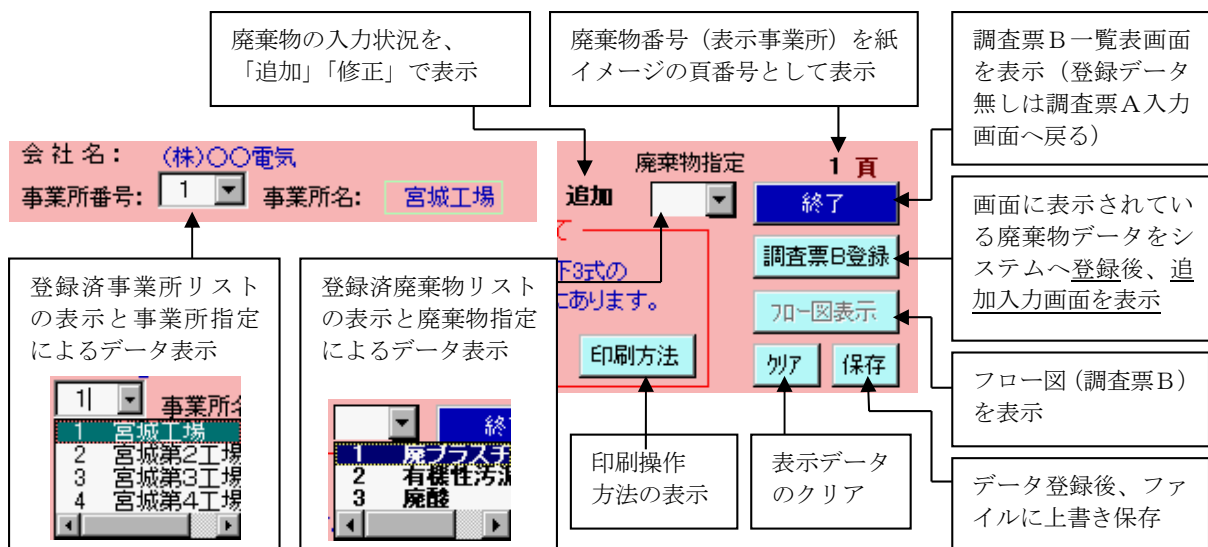
**I. 中間処理後最終処分**

①最終処分量 [ ] t/年

印刷方法 [ ] クリア [ ] 保存 [ ]

注意事項  
 ・スラッジ  
 ・廃酸廃アルカリ

画面 6.1-1 「調査票Bの入力」画面（製造業用）



画面 6.1-2 ボタン操作の説明

調査票A入力画面上の「調査票B作成」ボタンをクリックすると、「調査票B入力」画面（画面 6.1-1）が表示されます（入力画面の構成は、業種により多少異なります）。

調査票Bの入力画面は、文字を入力するテキストボックス（）、▼をクリックする事で表示されるリストから項目を選択するコンボボックス（▼）、及び6つのボタンで構成されています。また、操作や入力項目の説明文が、画面上に表示されます。

### (2) カーソル移動による説明表示

「調査票B入力」画面上でのカーソルを移動により、ボタン等の操作説明、調査票Bの用紙に記載されている注意書き等が表示されます。表示される内容を、画面 6.1-3 に示します。

The screenshot shows the '調査票【B】' (Survey Form B) input screen. It includes fields for company name, business number, and waste type. The waste type is currently set to '産業廃棄物・有価発生物' (Industrial Waste/Valuable Biological Waste). The amount is 300 t/year. The screen is divided into several sections: B. In-house intermediate processing, E. Direct intermediate processing commission, F. Direct recycling, H. Intermediate processing and recycling, and I. Intermediate processing final disposal. Each section has input fields for quantity and percentage. Callouts provide detailed instructions for each part of the form, such as how to correct data, how to use the 'Print' button, and how to interpret the formulas for waste quantity calculations.

画面 6.1-3 「調査票B入力画面」のカーソル移動による説明表示（製造業用）

### (3) ダウンリスト選択による説明表示

「調査票B入力」画面上のコンボボックスの「▼」をクリックする事で表示されるリストから項目を選択すると、説明文が表示されます。表示される内容は、次の通りです。

- ・ 廃棄物種類名：「付表B-1」に記載されている廃棄物の具体例
- ・ 再資源化区分：記入要領「表3」の再資源化区分の定義
- ・ 譲渡先業種：「付表B-2」に記載されている業種の詳細
- ・ 利用方法：記入要領「表4」の利用方法の定義

画面 6.1-4 「調査票B入力」画面のダウリストによる項目選択時の説明表示

#### (4) 項目クリックによる説明表示

「調査票B入力」画面上の青字の項目、「注意事項」の各項目、「廃棄物量の収支について」の①～③の各式をクリックする事で、クリックした項目の説明文が表示されます。

説明文の内容が枠内に収まらずに見えない場合は、説明文をクリックして下さい。枠の右側にスクロールバーが表示されます。バーの移動により、説明文をスクロールさせて下さい。

青字項目の説明文の表示内容を表 6.1-1 に、「廃棄物量の収支について」の説明文の表示内容を表 6.1-2 に、注意事項の表示内容を表 6.1-3 に示します。

画面 6.1-5 説明文にスクロールバーを表示

表 6.1-1 青字項目の説明文表示内容

No.	項目	内容
1	A. 産業廃棄物・有価発生物発生	(A1)「廃棄物の種類名と番号」は「▼」をクリックして表示されるリストから、該当する廃棄物を選択して下さい。 (A2)「廃棄物発生量」は、1 t未満の場合もご記入願います。 ① 発生量が10 t未満の場合、0.1 tの単位まで記入(小数点以下二位を四捨五入)。 ② 発生量が10 t以上の場合、1 tの単位まで記入(小数点以下一位を四捨五入)。
2	B. 自社中間処理	※貴社の施設で、貴社又は構内業者が中間処理するケース (B2)中間処理対象量：一番先頭のプロセスへのフィード量 (B3)中間処理残さ量：末端のプロセスから出てくる量
3	C. 自社中間処理後の中間処理委託	※他社(貴社の子会社等含む)の施設で、委託業者等が再度中間処理するケース (C2)中間処理対象量：一番先頭のプロセスへのフィード量 (C3)中間処理残さ量：末端のプロセスから出てくる量
4	D. 自社中間処理後最終残さ	(D1)自社中間処理後最終残さ量： 自社中間処理後の残さ量の内、中間処理委託対象量を除く最終残さ量で、再資源化または最終処分する量
5	E. 直接中間処理委託	※他社(貴社の子会社等含む)の施設で、委託業者等が中間処理するケース (E2)中間処理対象量：一番先頭のプロセスへのフィード量 (E3)中間処理残さ量：末端のプロセスから出てくる量
6	F. 直接再資源化	(F1)中間処理を行わない廃棄物の再資源化量 (F2)「再資源化区分」は「区分」、(F3)「譲渡先業種」は「業種」、(F4)「利用方法」は「方法」の「▼」をクリックして表示されるリストから、該当する番号を選択して下さい。
7	G. 直接最終処分	(G1)中間処理を行わない廃棄物の最終処分量(埋立て又は海洋投棄) 本調査の最終処分量(G)は、業者に最終処分委託した量でなく、実際に処分場に投入される量を調査対象としています。
8	H. 中間処理後再資源化	(H1)自社又は委託先で中間処理を行った後の残さの再資源化量 (H2)「再資源化区分」は「区分」、(H3)「譲渡先業種」は「業種」、(H4)「利用方法」は「方法」の「▼」をクリックして表示されるリストから、該当する番号を選択して下さい。
9	I. 中間処理後最終処分	(I1)自社又は委託先で中間処理を行った後の残さの最終処分量(埋立て又は海洋投棄) 本調査の最終処分量(I)は、業者に最終処分委託した量でなく、実際に処分場に投入される量を調査対象としています。

表 6.1-2 「廃棄物量の収支について」の説明文表示内容

No.	項目	内容
1	物質収支①式	発生量・処理量・再資源化量・処分量は、原則的に次の関係にあります。 (A2)産業廃棄物発生量 = (B2)自社中間処理対象量 + (E2)直接中間処理委託対象量 + (F)直接再資源化量 + (G)直接最終処分量
2	物質収支②式	中間処理量は、原則的に次の関係にあります。 (B3)自社中間処理残さ量 = (C2)自社中間処理後の中間処理委託対象量 + (D1)自社中間処理後最終残さ量
3	物質収支③式	処理量・再資源化量・処分量は、原則的に次の関係にあります。 (C3)自社中間処理後の中間処理委託残さ量 + (E3)直接中間処理委託残さ量 + (D1)自社中間処理後最終残さ量 = (H)中間処理後再資源化量 + (I)中間処理後最終処分量

表 6.1-3 「注意事項」の説明文表示内容

No.	項目	内容
1	スラッジについて	本調査では、今後「汚泥（脱水前）」の代わりに「スラッジ（脱水後の汚泥）」を調査します（記入要領P9参照）。 ① 「スラッジ」は、脱水後の汚泥の量を発生量とします。 ② 但し、ローリー車等で事業所外の処理施設へ搬入する場合は、脱水前の量とします。 ③ ②の場合はボックスの「含水率%」欄に必ずご記入下さい。 $\text{含水率}(\%) = \text{水分重量} \div (\text{固形分重量} + \text{水分重量})$
2	廃酸・廃アルカリの発生量について	① 廃棄物処理法に基づく設置許可を要する産廃処理施設に入る段階の量を「発生量」とします。 ② 但し、設置許可が不要なプラントの中和施設で処理が完了した場合、廃酸・廃アルカリの発生は無いものとします。中和処理で汚泥が生じた場合は「スラッジ」として集計してください。 ③ 廃酸・廃アルカリの(G)直接最終処分は、廃棄物処理法により禁じられています。中間処理した量としてご記入下さい。

## 6. 2 調査票Bの入力と登録

### (1) 調査票Bの入力

調査票A入力画面の「調査票B作成」をクリックすると調査票B入力画面が追加入力（画面6.1-1の右上参照）状態で表示されますので、次に示す項目に注意してデータを順次（廃棄物種類名より）入力して下さい（登録済データの表示は、6.3を参照）。

- ・ 数字項目の入力は必ず半角で入力して下さい。
- ・ コンボボックス(▼)で作成している項目については、必ずダウリストより選択(▼をクリックし、メニュー内より選択)して下さい。
- ・ 産業廃棄物・有価発生物質の収支が、画面上に記載されているフロー収支の関係式に合うように入力して下さい。

画面 6.2-1  
廃プラスチックの入力例



廃棄物名の種類をダウンリストから選択すると、スラッジを選択した時のみ含水率の入力が可能になります。必要に応じて含水率を入力下さい（表 6. 1-3 参照）。

廃プラスチックの入力例を画面 6. 2-1 に示します。

## (2) 入力データの登録

調査票Bのデータ入力終了したら、画面上で内容を確認し「調査票B登録」ボタンをクリックして下さい。データに問題が無ければシステムに登録され、次の廃棄物を入力するための追加入力画面が表示されます。2種類以上の廃棄物の発生が有る場合は、続けて入力作業を行って下さい。登録済廃棄物データの表示は、6. 4を参照して下さい。

※ 終了ボタンではデータが登録されません。必ず「調査票B登録」ボタンをクリックし、データを登録してください。

登録された調査票Bデータは、入力画面の背景として表示されている本システム内のシート：事業所\_x（x：廃棄物入力順の番号）に登録されます。複数の廃棄物を入力する場合は、データの登録状況を背景の画面で確認しながら入力して下さい。登録内容の詳細は、一旦初期画面に戻り、画面下部に表示されているシート名「事業所\_x」をクリックして内容をご確認ください（11. 2参照）。確認後は、必ず画面下部に表示されているシート名「初期画面」をクリックして初期画面に戻ってから作業を再開して下さい。

## (3) 入力データエラー

入力したデータに不備が有る場合、エラーメッセージが表示されるように機能を追加しました。表示されるメッセージの指示に従ってデータを修正して下さい。メッセージが表示されるデータエラーには以下のものがあります。

### ① 廃棄物種類名エラー

廃棄物種類名をダウンリスト（▼クリックにより表示されるリスト）から選択せずに、種類名を直接入力した場合で、ダウンリストに無い廃棄物名を入力した場合には種類番号が設定されません。必ずダウンリストから廃棄物種類名を選択して下さい。リストに無い廃棄物名を直接入力する場合は、該当する種類番号も合わせて入力して下さい。

### ② 不当文字列エラー

本来数値を入力すべきところに文字列が入力された場合、エラーメッセージが表示されます。ダウンリスト以外のボックスには数値のみを入力して下さい。

### ③ 産業廃棄物発生量の無記入エラー

産業廃棄物発生量(A2)が未入力の場合に、エラーメッセージが表示されます。産業廃棄物発生量を入力して下さい。

### ⑤ 再資源化区分無記入メッセージ

直接再資源化(F)及び中間処理後再資源化(H)に値が設定されていて再資源化区分が設定されていない場合、メッセージが表示されます。再資源化の区分（有償譲渡、無償譲渡等）はデータ集計時に使用しますので、可能な限り再資源化区分を設定して下さい。

⑥ フロー収支エラー

入力した廃棄物量の収支が合わない場合、フロー収支エラー画面が表示され、収支が合わないデータと式が赤字で表示されます。赤字で表示されたデータをチェックして下さい。

「OK」ボタンをクリックすると、調査票B入力画面に戻り、エラー画面と同様にデータが赤字表示されます。赤字データを修正して、再度「調査票B登録」ボタンをクリックして下さい。「このまま登録」ボタンをクリックすると、収支エラーのままのデータがシステムに登録されます。フロー収支に関する詳細は、以下の6.3を参照して下さい。

赤字

このまま、システムへ登録

調査票【B】フロー収支エラー

可能な限りフローの収支が合うようにデータを修正して下さい。

OK

このまま登録

フロー収支エラー画面

赤字

画面 6.2-2  
廃棄物量の収支  
エラーの表示例

調査票【B】

会社名: 神〇〇電気  
事業所番号: 1 事業所名: 宮城工場

産業廃棄物指定 1 頁

追加 終了

調査票B登録

フロー図表示

別ア 保存

印刷方法

注意事項  
・スラッジ  
・廃酸廃アルカ

産業廃棄物処理フロー量の収支エラー  
・「産業廃棄物の収支について」の枠内に書かれている赤字で示した式の収支が合う様に、値を修正して下さい。  
・このまま登録する場合は、「調査票B登録」ボタンのクリック後に表示される「フロー収支エラー」画面の「このまま登録」ボタンをクリックして下さい。

注意  
※「廃油」「廃酸」「廃アルカリ」は、法令(産業廃棄物処理法施行令第6条)により直接処分場に処分することは禁止されています。  
「廃油」「廃酸」「廃アルカリ」は「B. 自社中間処理」「E. 直接中間処理委託」を経て、「I. 中間処理後最終処分」へご記入下さい。

### 6. 3 廃棄物フローと収支エラー

廃棄物のマテリアルフロー量には、次の3つの関係式が成り立ちます。

$$\textcircled{1} : \mathbf{[A2]} = \mathbf{[B2]} + \mathbf{[E2]} + \mathbf{[F]} + \mathbf{[G]}$$

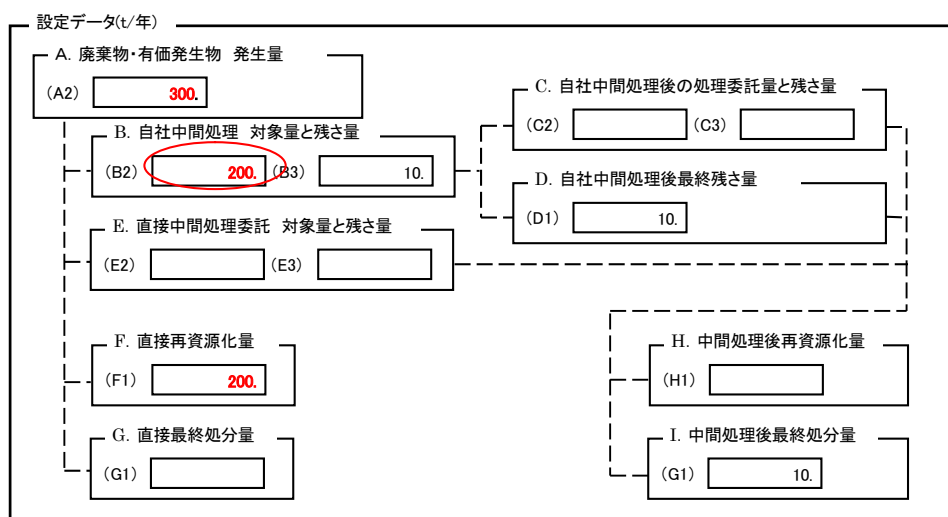
$$\textcircled{2} : \mathbf{[B3]} = \mathbf{[C2]} + \mathbf{[D1]}$$

$$\textcircled{3} : \mathbf{[C3]} + \mathbf{[E3]} + \mathbf{[D1]} = \mathbf{[H]} + \mathbf{[I]}$$

入力した数値が①～③式の一つでも満たしていない場合、フロー収支エラーとなりフロー収支エラー画面が表示されます（画面 6. 2-2 参照）。以下に収支エラーの例と対策を示します。

#### 例 1 : 数値入力エラー

単純に入力数値を間違えた為に収支エラーが生じた場合は、数値を修正して下さい。



$$\textcircled{1} : \mathbf{[A2]} = \mathbf{[B2]} + \mathbf{[E2]} + \mathbf{[F]} + \mathbf{[G]}$$

$$300 = \underline{200} + 0 + 200 + 0 \quad \times$$

↓

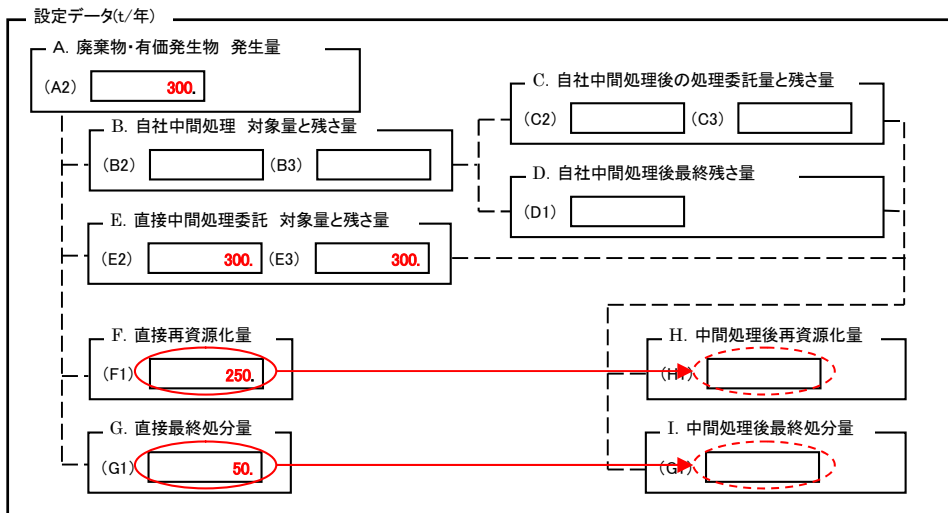
$$\textcircled{1} : \mathbf{[A2]} = \mathbf{[B2]} + \mathbf{[E2]} + \mathbf{[F]} + \mathbf{[G]}$$

$$300 = \underline{100} + 0 + 200 + 0 \quad \circ$$

図 6.3-1 例 1 : ①式に関する数値の入力エラー例

#### 例 2 : 再資源化と最終処分の入力位置エラー

直接中間処理委託により廃棄物を再資源化と最終処分に分けた場合で、本来中間処理後の再資源化量(H)と中間処理後の最終処分量(I)に値を入力すべきところを、直接処理を委託したので頭に直接が付く直接再資源化量(F)と直接最終処分量(G)に値を入力した場合、①式と③式に収支エラーが生じます。直接再資源化量(F)と直接最終処分量(G)に入力したデータを、中間処理後の再資源化量(H)と中間処理後の最終処分量(I)に変更して下さい。



$$\textcircled{1} : \mathbf{[A2]} = \mathbf{[B2]} + \mathbf{[E2]} + \mathbf{[F]} + \mathbf{[G]}$$

$$300 = 0 + 300 + \underline{250} + \underline{50} \quad \times$$

$$\textcircled{3} : \mathbf{[C3]} + \mathbf{[E3]} + \mathbf{[D1]} = \mathbf{[H]} + \mathbf{[I]}$$

$$0 + 300 + 0 = \underline{0} + \underline{0} \quad \times$$

↓

$$\textcircled{1} : \mathbf{[A2]} = \mathbf{[B2]} + \mathbf{[E2]} + \mathbf{[F]} + \mathbf{[G]}$$

$$300 = 0 + 300 + \underline{0} + \underline{0} \quad \circ$$

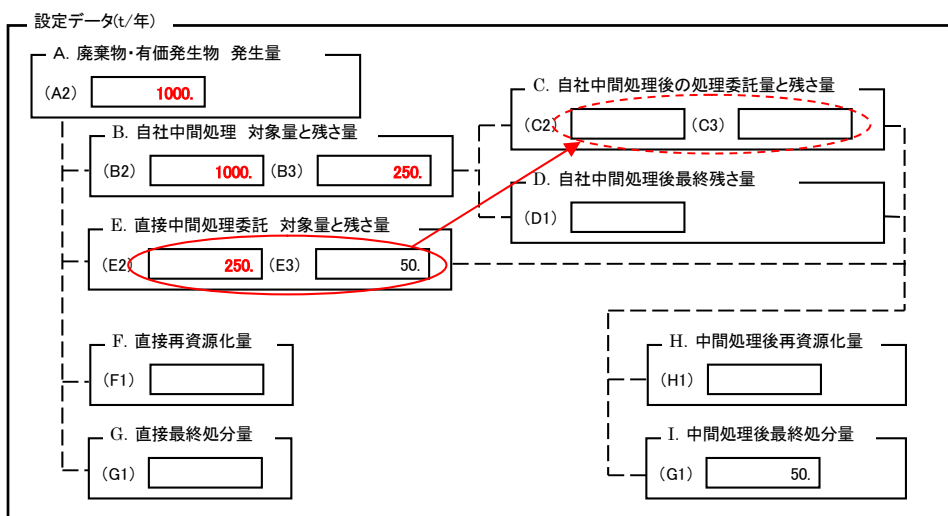
$$\textcircled{3} : \mathbf{[C3]} + \mathbf{[E3]} + \mathbf{[D1]} = \mathbf{[H]} + \mathbf{[I]}$$

$$0 + 300 + 0 = \underline{250} + \underline{50} \quad \circ$$

図 6.3-2 例 2 : 再資源化と最終処分の入力位置エラー例

例 3 : 直接中間処理委託と中間処理後処理委託の入力位置エラー

自社中間処理後に中間処理を委託した場合で、本来中間処理後の中間処理委託(C)に値を入力すべきところを直接中間処理委託(E)に値を入力した場合、①式と②式に収支エラーが生じます。直接中間処理委託対象量(E2)と残さ量(E3)に入力した値を消して中間処理後の中間処理委託対象量(C2)と残さ量(C3)に値を入力し直して下さい。

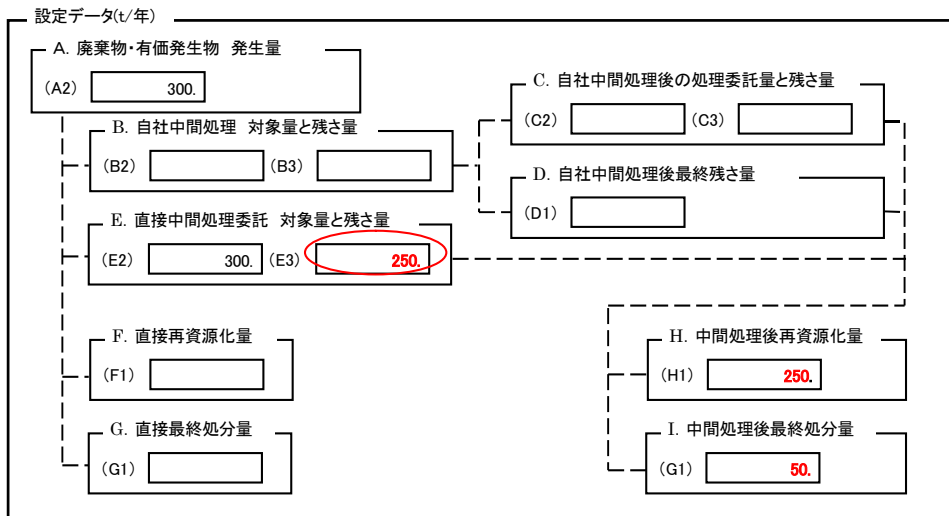


$$\begin{aligned}
 \textcircled{1} : & \text{【A2】} = \text{【B2】} + \text{【E2】} + \text{【F】} + \text{【G】} && \times \\
 & 1000 = 1000 + \underline{250} + 0 + 0 \\
 \textcircled{2} : & \text{【B3】} = \text{【C2】} + \text{【D1】} && \times \\
 & 250 = \underline{0} + 0 \\
 \textcircled{3} : & \text{【C3】} + \text{【E3】} + \text{【D1】} = \text{【H】} + \text{【I】} && \circ \\
 & \underline{0} + \underline{50} + 0 = 0 + 50 \\
 & \downarrow \\
 \textcircled{1} : & \text{【A2】} = \text{【B2】} + \text{【E2】} + \text{【F】} + \text{【G】} && \circ \\
 & 1000 = 1000 + \underline{0} + 0 + 0 \\
 \textcircled{2} : & \text{【B3】} = \text{【C2】} + \text{【D1】} && \circ \\
 & 250 = \underline{250} + 0 \\
 \textcircled{3} : & \text{【C3】} + \text{【E3】} + \text{【D1】} = \text{【H】} + \text{【I】} && \circ \\
 & \underline{50} + \underline{0} + 0 = 0 + 50
 \end{aligned}$$

図 6.3-3 例 3 : 直接中間処理委託と中間処理後処理委託の入力位置エラー例

例 4 : 処理後残さ量の入力値エラー

中間処理（又は処理委託）において、物理的処理等によって廃棄物を再資源化と最終処分に分けた場合で、中間処理後（処理委託後）の残さ量として再資源化量を入力した場合は、③式に収支エラーが生じます。中間処理後（処理委託後）の残さ量として再資源化量と最終処分量の合計を入力して下さい。



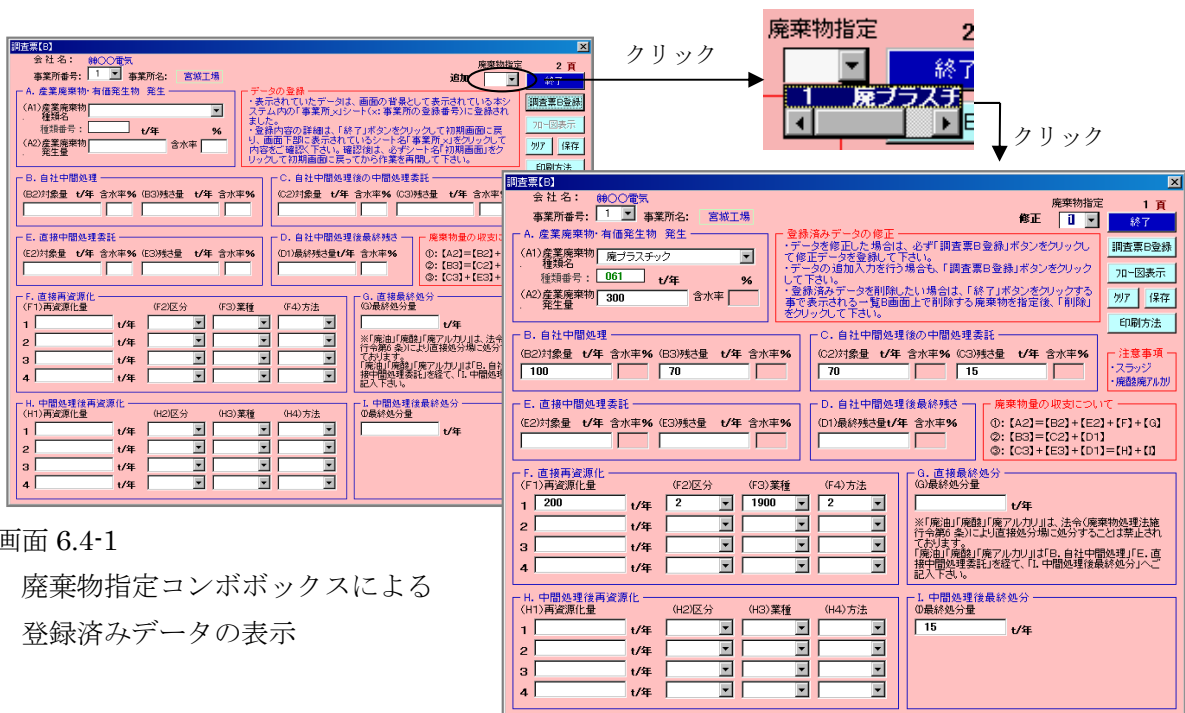
$$\begin{aligned}
 \textcircled{3} : & \text{【C3】} + \text{【E3】} + \text{【D1】} = \text{【H】} + \text{【I】} && \times \\
 & 0 + \underline{250} + 0 = 250 + 50 \\
 & \downarrow \\
 \textcircled{3} : & \text{【C3】} + \text{【E3】} + \text{【D1】} = \text{【H】} + \text{【I】} && \circ \\
 & 0 + \underline{300} + 0 = 250 + 50
 \end{aligned}$$

図 6.3-4 例 4 : 処理後残さ量の記入エラー例

## 6. 4 登録済みデータの表示と修正

登録済みの調査票Bの廃棄物データは、調査票B入力画面右上の「廃棄物指定」コンボボックスのクリックにより再表示させる事ができます。「廃棄物指定」コンボボックスの▼をクリックすると登録済み廃棄物名リストが表示されます。表示する廃棄物を選択してクリックすると、登録されているデータが画面に表示されます。表示内容を修正した場合は、データ修正後に再度「調査票B登録」ボタンをクリックして修正データを登録して下さい。

また、「事業所番号」コンボボックスによる事業所の選択により、調査票A入力画面に戻らずに別の事業所の廃棄物データを表示、修正することができます。調査票B入力画面左上の「事業所番号」コンボボックスの▼をクリックすると登録されている事業所名リストが表示されます。別の事業所名を選択してクリックすると、選択した事業所が追加入力状態で表示されます。



画面 6.4-1  
廃棄物指定コンボボックスによる  
登録済みデータの表示

## 6. 5 データの追加入力

登録済みデータの表示後にデータを追加したい場合は、「調査票B登録」ボタンをクリックして下さい。追加入力画面が表示されます。但しデータを修正した場合で登録しない場合は、他のデータを表示後に「調査票B登録」ボタンをクリックするか、「終了」ボタンをクリック後に再度調査票B入力画面を表示して下さい。

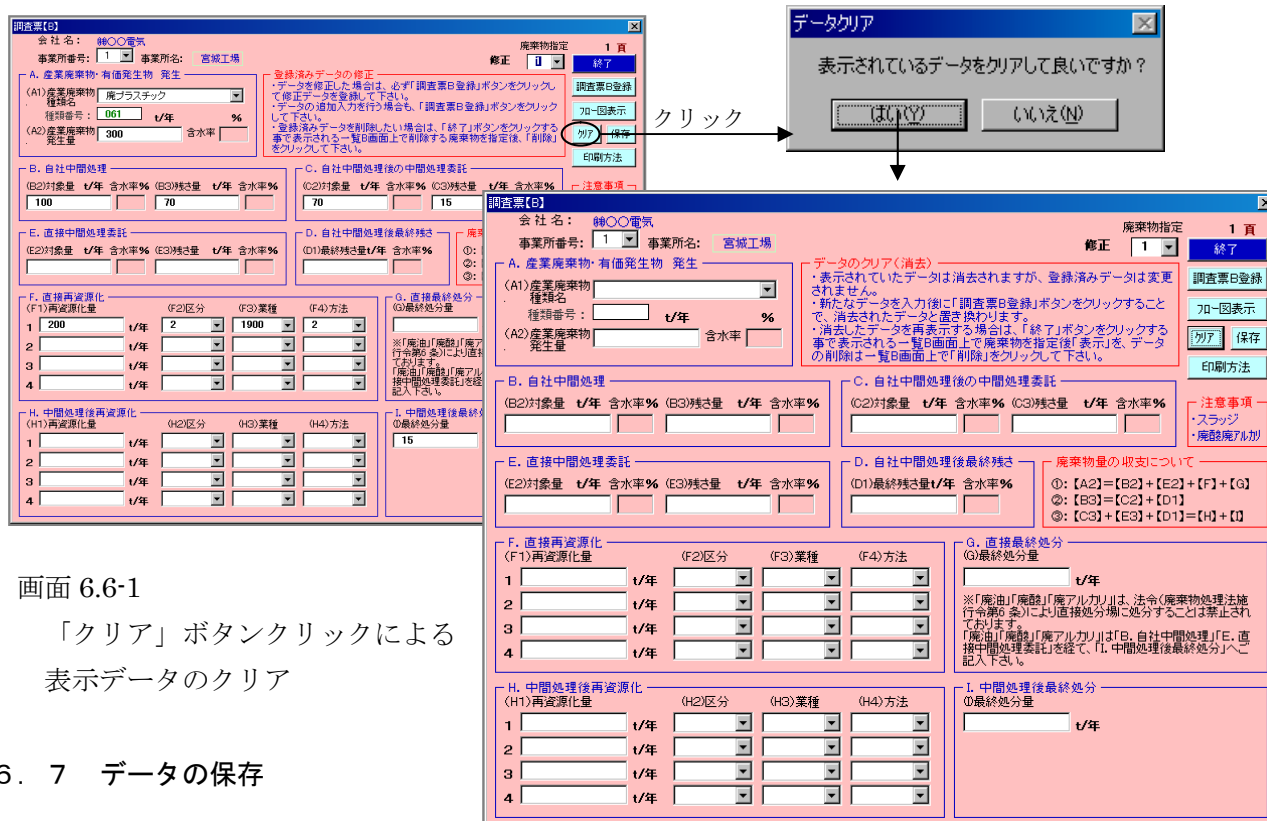
## 6. 6 表示データのクリア

調査票B入力画面上の「クリア」ボタンをクリックする事で表示される確認メッセージで「はい(Y)」をクリックすると、廃棄物名以降の全データは空白となります。

本操作では登録済みデータは変更されません。データを入力後、「調査票B登録」ボタンをクリックする事でデータがシステムに登録されます。

登録済みデータを削除したい場合は、「終了」ボタンをクリックする事で表示される調査票B一覧表画面で行います。データ削除の詳細は、7. 3をご覧ください。

クリア後にクリアしたデータを再表示したい場合は、他の廃棄物を表示させて一旦画面を切り替えてから再度廃棄物指定するか、「終了」ボタンクリック後に表示される一覧表でクリアした廃棄物を選択表示して下さい。



画面 6.6-1

「クリア」ボタンクリックによる  
表示データのクリア

## 6. 7 データの保存

調査票B入力画面上の「保存」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。

「はい(Y)」をクリックすると、データをシステムに登録後、ファイルに上書き保存されます。

「保存」ボタンでのデータ登録は、「調査票B登録」ボタンのクリックと同じです。データ登録の詳細は、6. 2～5をご覧ください。

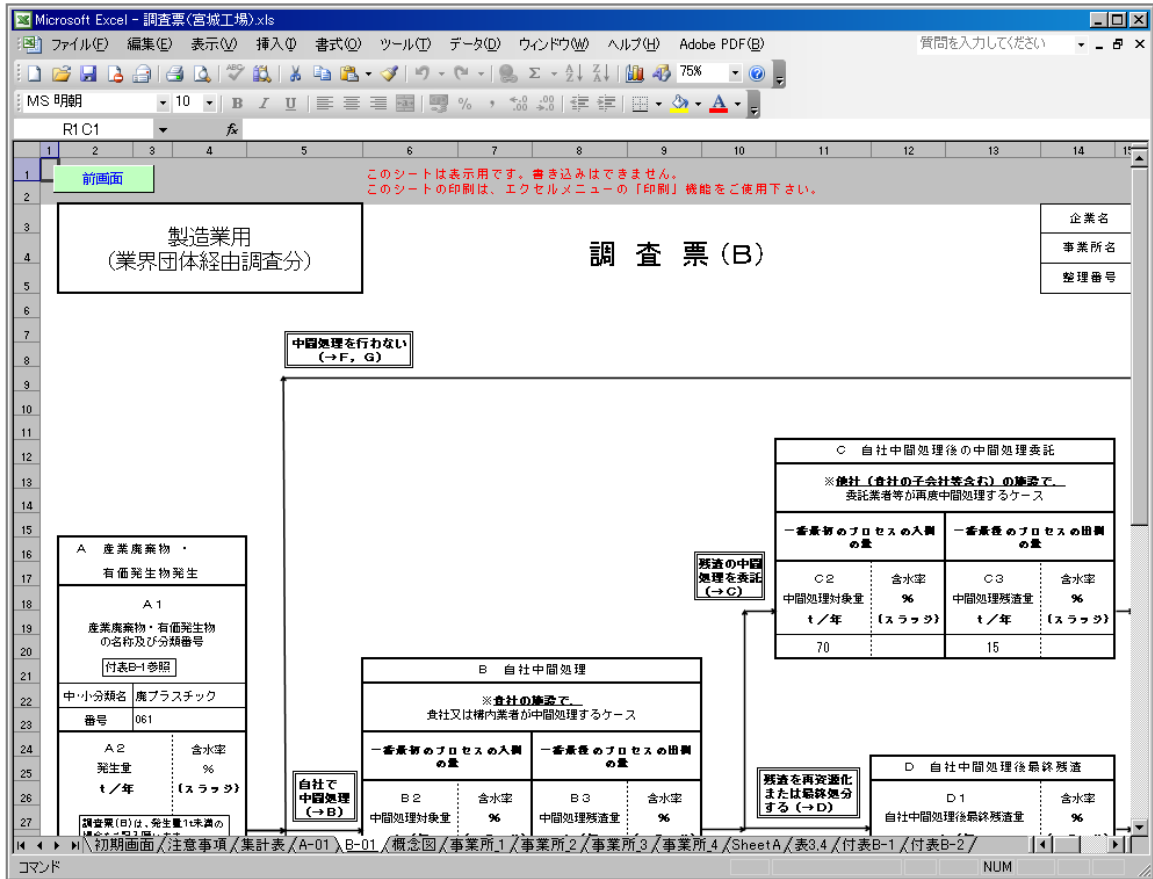
## 6. 8 印刷方法の表示

調査票B入力画面上の「印刷方法」ボタンをクリックすると、登録データの印刷操作方法のメッセージ『調査票Bの印刷は、「フロー図表示」ボタンをクリックして調査票Bを表示した状態で、エクセルのファイルメニュー「印刷」をクリックして下さい。』が表示されます。

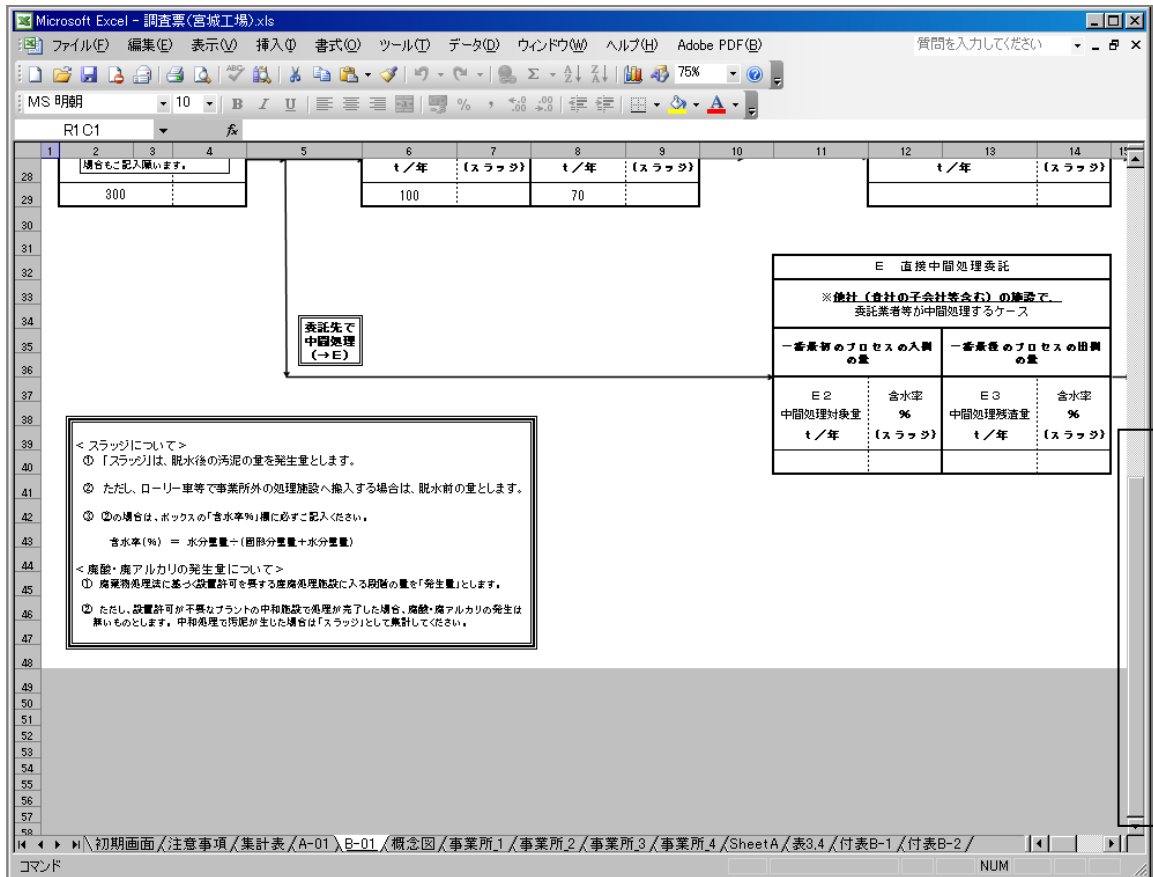
調査票Bの入力データの印刷は、パソコンとプリンターの機種による設定の違いに対応する為に、エクセルの印刷機能を使用してデータを印刷します（詳細は6. 9参照）。

## 6. 9 調査票Bの表示

調査票B入力画面で「フロー図表示」ボタンをクリックして調査票Bのフロー図を表示する事で紙イメージでの調査票Bの登録内容の確認と印刷を行う事ができます。



画面 6.9-1 調査票Bの表示 (票の左上部分)



画面 6.9-2 調査票Bを下へスクロールした場合の表示



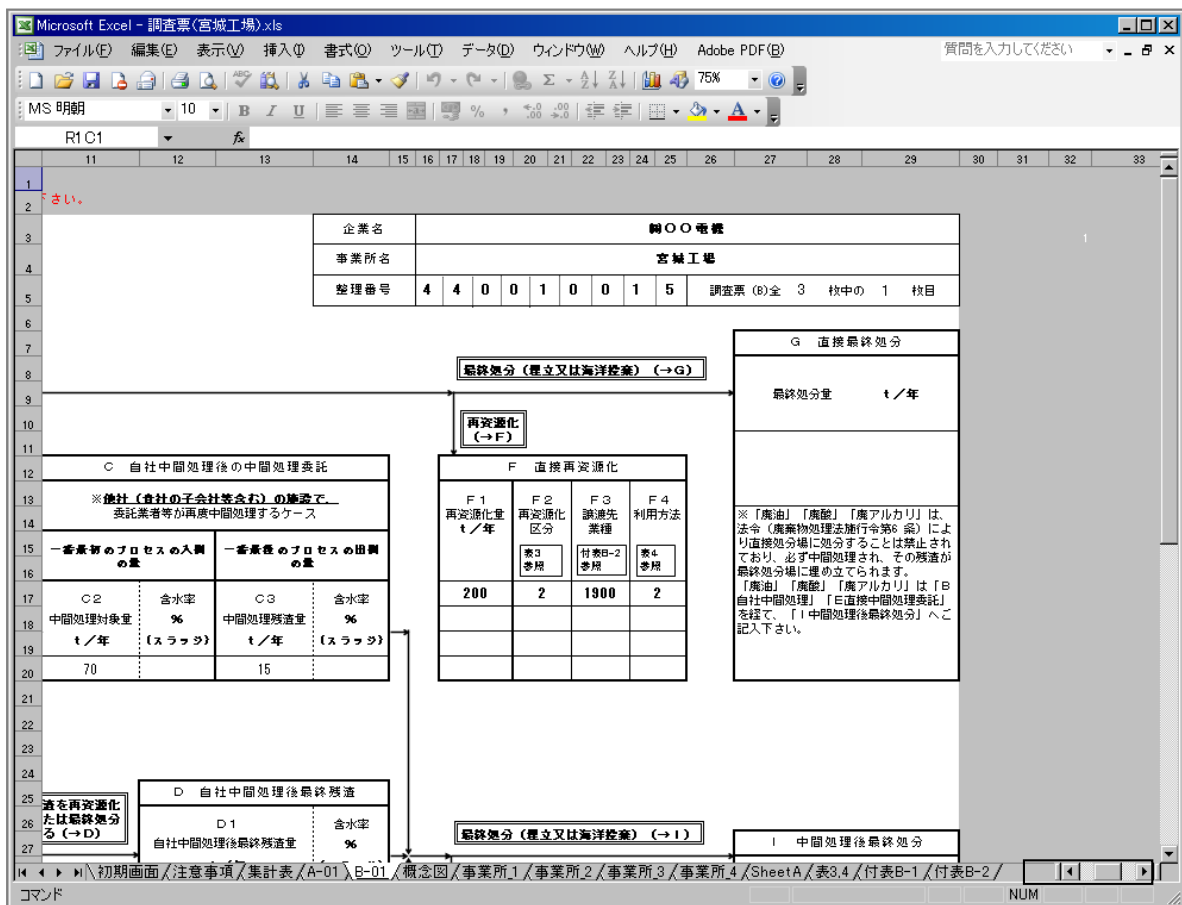
データ登録後、または登録済みデータ表示後に、「フロー図表示」ボタンをクリックして下さい。さらに表示された表示確認メッセージで「はい」をクリックすると、調査票B入力画面に表示されているデータのフロー図（調査票B）が表示されます（画面 6.9-1）。

表示された画面右と下のスクロールバーを上下左右に移動させる事で票の全体を見ることができます（画面 6.9-2 と 3）。

また、エクセルの印刷機能（「ファイル(F)」メニュー→「印刷(P)」）を使用して調査票Bの全体（白地の部分）を印刷（A3版横）する事ができます。

調査票B入力画面に戻る場合は、画面左上の「前画面」ボタンをクリックして下さい。

※ 表示されている調査票Bに直接文字を書き込む事はできませんのでご注意ください。



← スクロールバー →

画面 6.9-3 調査票Bを右へスクロールした場合の表示

## 6. 10 調査票Bの入力終了

調査票B入力画面で「終了」ボタンをクリックすると、調査票B一覧表画面が表示されます。

※ 終了ボタンではデータが登録されません。データを入力した場合は、必ず「調査票B登録」ボタンをクリックしてデータを登録後、終了してください。

## 7. 調査票Bの一覧表によるデータ確認と削除

### 7. 1 調査票B一覧表画面の説明

一覧表【B】 (整理番号: 440010015)

終了 表示 削除 会社名: 株式会社 事業所名: 宮城工場

No.	番号	廃棄物名	廃棄物発生量 (A2)	自社中間処理 (B2)	自社中間処理 (B3)	中間処理後の中間処理委託 (C2)	中間処理後の中間処理委託 (C3)	最終残さ (D1)	直接中間処理委託 (E2)	直接中間処理委託 (E3)	直接再資源化 (F)	直接再資源化 (G)	中間処理後再資源化 (H)	中間処理後再資源化 (I)	関係式エラー ①②③
1	061	廃プラスチック	300	100	70	70	15				200			15	○○○
2	022	有機性スラッジ	1,000	1,000	50			50						50	○○○
3	040	廃酸	300						200	10	100		10		○○○

データを修正する場合は、廃棄物を選択して「表示」ボタンをクリックして下さい。

(A2)

```

      graph LR
      A2 --> B2_B3["(B2) : (B3)"]
      A2 --> E2_E3["(E2) : (E3)"]
      A2 --> F_G["(F) : (G)"]
      B2_B3 --> C2_C3["(C2) : (C3)"]
      B2_B3 --> D1["(D1)"]
      E2_E3 --> D1
      E2_E3 --> H_I["(H) : (I)"]
      F_G --> H_I
      
```

産業廃棄物・有価発生量の収支の関係式

①:  $[A2] = [B2] + [E2] + [F] + [G]$

②:  $[B3] = [C2] + [D1]$

③:  $[C3] + [E3] + [D1] = [H] + [I]$

画面 7.1-1 「調査票B一覧表」画面 (製造業用)

調査票B入力画面上の「終了」ボタンをクリックすると、調査票B一覧表画面が表示されます。

調査票B一覧表画面には、入力された調査票Bの廃棄物名、発生量から最終処分量までのフロー量、関係式エラーのフラグ (○と×) の一覧が表示されます。調査票B一覧表画面には、選択したデータを修正するために調査票B入力画面を表示する機能と、選択したデータを削除する機能があります。詳細は、7. 2及び7. 3をご覧ください。

調査票Bの入力時にフロー収支エラーが生じたまま登録した場合は、関係式が×で表示されると共に、一覧画面の下にメッセージが赤字で表示されます (画面 7.1-2)。×の表示されているデータを可能な限り修正して下さい。関係式と収支エラーの詳細は、6. 3を参照して下さい。

一覧表【B】 (整理番号: 440010015)

終了 表示 削除 会社名: 株式会社 事業所名: 宮城工場

No.	番号	廃棄物名	廃棄物発生量 (A2)	自社中間処理 (B2)	自社中間処理 (B3)	中間処理後の中間処理委託 (C2)	中間処理後の中間処理委託 (C3)	最終残さ (D1)	直接中間処理委託 (E2)	直接中間処理委託 (E3)	直接再資源化 (F)	直接再資源化 (G)	中間処理後再資源化 (H)	中間処理後再資源化 (I)	関係式エラー ①②③
1	061	廃プラスチック	300	100	70	70	15				200			15	○○○
2	022	有機性スラッジ	1,000	1,000	50			50						50	○○○
3	040	廃酸	300						200	15	100		10		○○×

※関係式の収支が合わない廃棄物が1件あります。×の付いている関係式の値を可能な限り修正してください。

画面 7.1-2 収支エラーの値修正メッセージ

## 7. 2 調査票B入力画面の表示

調査票B一覧表画面で廃棄物を選択後に「表示」ボタンをクリックする事で、選択した廃棄物のデータが表示された状態の調査票B入力画面が表示されます。

表示データを選択後クリック

画面 7.2-1  
調査票B入力画面による  
選択データの表示

## 7. 3 登録データの削除

調査票B一覧表画面で廃棄物を選択して「削除」ボタンをクリックすると削除確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると選択した廃棄物の登録済みデータが削除されます。

削除データを選択後クリック

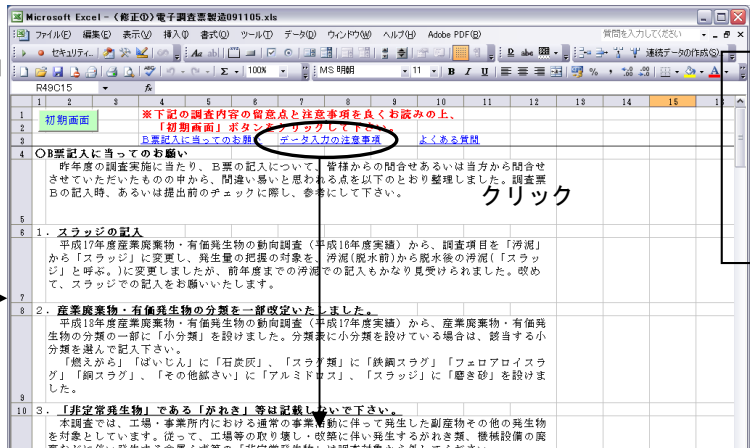
画面 7.3-1  
登録済みデータの削除

## 8. 注意事項の表示

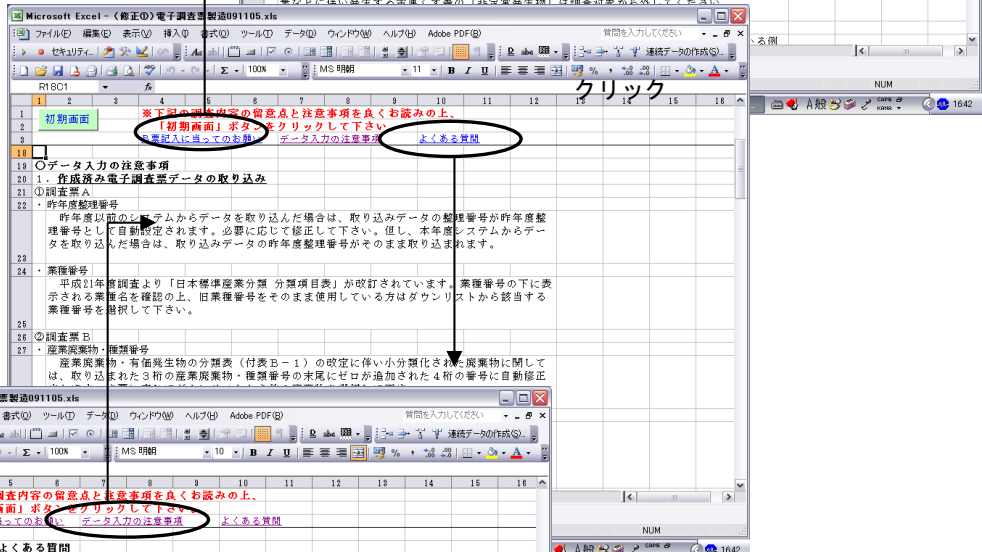
初期画面で「注意事項」ボタンをクリックすると、注意事項画面が表示されます。

注意事項画面の内容は、「B票記入に当たってのお願い」、「データ入力の注意事項」、「よくある質問」の3種類で構成され、画面上部の文字をクリック、又はスクロールバーを使用して内容を表示することが出来ます。

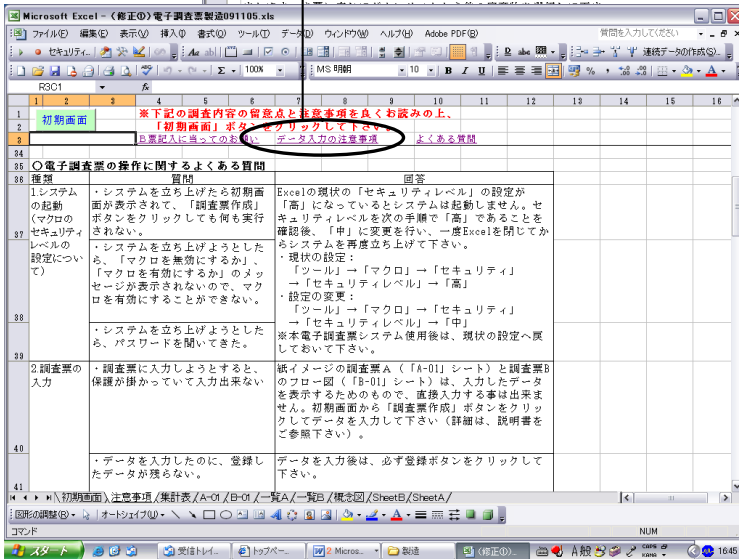
### ①「B票記入に当たってのお願い」の表示



### ②「データ入力の注意事項」の表示



クリック



### ③「電子調査票の操作に関するよくある質問」の表示

画面 8-1 「注意事項」画面の表示

## 8. 1 B票記入に当たってのお願い

「注意事項」画面上部の「B票記入に当たってのお願い」をクリックすると、データ入力 of 注意事項として、以下の内容が表示されます。

### ○B票記入に当たってのお願い

B票の記入に当たっては、記入要領・記入例等に基づきご記入いただいておりますが、平成18年度調査において、皆様からの問合せあるいは当方から問合せさせていただいたものの中から、間違い易いと思われる点を以下のとおり整理しました。調査票Bの記入時、あるいは提出前のチェックに際し、参考にして下さい。

#### 1. スラッジの記入

平成17年度産業廃棄物・有価発生物の動向調査（平成16年度実績）から、調査項目を「汚泥」から「スラッジ」に変更し、発生量の把握の対象を、汚泥（脱水前）から脱水後の汚泥（「スラッジ」と呼ぶ。）に変更しましたが、前年度までの汚泥での記入もかなり見受けられました。改めて、スラッジでの記入をお願いいたします。

#### 2. 産業廃棄物・有価発生物の分類を一部改定いたしました。

産業廃棄物・有価発生物の分類の一部に「小分類」を設けました。分類表に小分類を設けている場合は、該当する小分類を選んで記入下さい。

「燃えがら」「ばいじん」に「石炭灰」、「スラグ類」に「鉄鋼スラグ」「フェロアロイスラグ」「銅スラグ」、「その他鉱さい」に「アルミドロス」、「スラッジ」に「磨き砂」を設けました。

#### 3. 「非定常発生物」である「がれき」等は記載しないで下さい。

本調査では、工場・事業所内における通常の事業活動に伴って発生した副産物その他の発生物を対象としています。従って、工場等の取り壊し・改築に伴い発生するがれき類、機械設備の廃棄などに伴い発生する金属くず等の「非定常発生物」は調査対象から外してください。

#### 4. 最終処分量は処分を委託した量でなく、実際に最終処分場に入る量を記入下さい。

処理業者（処分業者）に処理・処分を委託した量をそのまま最終処分量として記載している例がかなり見られます。

廃油、汚泥（スラッジ）、廃酸・廃アルカリ等は最終処分前の中間処理が法令により義務づけられています。又、可燃物は焼却されて減量してから処分されるのが通常です。可能な限り、中間処理による減量を織り込んで記入下さい。

処理業者（処分業者）からのマニフェスト、報告、聞き取り等による確認が必要になりますが、ご面倒でもお願いいたします。他の排出者の廃棄物と一括処理されている場合は、例えば、処理業者が採用している処理方法（例えば「焼却」）で発生した残渣量（率）からの推計で結構です。

\* 処理業者の焼却残渣発生率×貴事業所が委託した量

#### 5. 中間処理後によりガス等を回収している場合の「中間処理後の残渣」の記入方法

廃棄物を中間処理により燃料として使用できるガス等を回収している場合は、回収したガスの重量と固形物の重量の合計が「中間処理後の残渣量」となりますので、ご注意下さい。

## 6. 譲渡先の業種分類の選択について

次のいずれかに該当する業種を記載下さい。

- 1) 発生事業所内で再資源化处理したものを原材料として使用する企業の属する業種
- 2) 発生事業所から譲渡されたものを、原材料化するための処理・加工を行い、使用できる状態にする企業の属する業種

なお、「公務」とは専ら行政事務等を行う官公署を言い、それ以外の業務は、一般の産業と同様に行う業務によってそれぞれの産業に分類されます。例えば、〇〇市の宅地造成担当部門に地盤改良材として譲渡する場合は、建設業を選択して下さい。

## 8. 2 データ入力の注意事項

「注意事項」画面上部の「データ入力の注意事項」をクリックすると、データ入力の注意事項として、以下の内容が表示されます。

### 1. 作成済み電子調査票データの取り込み

#### ①調査票A

- ・昨年度整理番号

昨年度以前のシステムからデータを取り込んだ場合は、取り込みデータの整理番号が昨年度整理番号として自動設定されます。必要に応じて修正して下さい。但し、本年度システムからデータを取り込んだ場合は、取り込みデータの昨年度整理番号がそのまま取り込まれます。

- ・業種番号

平成 21 年度調査より「日本標準産業分類 分類項目表」が改訂されています。業種番号の下に表示される業種名を確認の上、旧業種番号をそのまま使用している方はダウンリストから該当する業種番号を選択して下さい。

#### ②調査票B

- ・産業廃棄物・種類番号

産業廃棄物・有価発生物の分類表（付表B-1）の改定に伴い小分類化された廃棄物に関しては、取り込まれた3桁の産業廃棄物・種類番号の末尾にゼロが追加された4桁の番号に自動修正されます。必要に応じてダウンリストから他の廃棄物を選択して下さい。

### 2. 特記事項記入欄

データが前年度データと大きく異なっている場合、記入ミスの可能性を考慮して、確認のため問合せさせていただいております。

集計もれ、記入ミス等もありますが、原因が一部生産ラインの新增設、中止等によるもので、結果として数値としては間違いない場合も多々あります。確認のために貴重なお時間を割いていただくこととなりますので、ご面倒でも、大きく変動した場合、その原因等を調査票A入力画面上の特記事項記入欄にコメントして下さい。

また、製造品出荷額、従業者数等の欄が空白の場合も、その理由をコメント頂けると幸いです。

### 8.3 よくある質問

「注意事項」画面上部の「よくある質問」をクリックすると、電子調査票の操作に関するよくある質問として、以下の内容が表示されます。

表 8.3-1 電子調査票の操作に関する「よくある質問」(その1)

種類	質問	回答
1.システムの起動 (マクロのセキュリティレベルの設定について)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを立ち上げたら初期画面が表示されて、「調査票作成」ボタンをクリックしても何も実行されない。</li> <li>・システムを立ち上げようとしたら、「マクロを無効にするか」、「マクロを有効にするか」のメッセージが表示されないので、マクロを有効にすることができない。</li> <li>・システムを立ち上げようとしたら、パスワードを聞いてきた。</li> </ul>	<p>Excelの現状の「セキュリティレベル」の設定が「高」になっているとシステムは起動しません。セキュリティレベルを次の手順で「高」であることを確認後、「中」に変更を行い、一度 Excel を閉じてからシステムを再度立ち上げて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の設定： 「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」 →「セキュリティレベル」→「高」</li> <li>・設定の変更： 「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」 →「セキュリティレベル」→「中」</li> </ul> <p>※本電子調査票システム使用後は、現状の設定へ戻しておいて下さい。</p>

表 8.3-1 電子調査票の操作に関する「よくある質問」(その2)

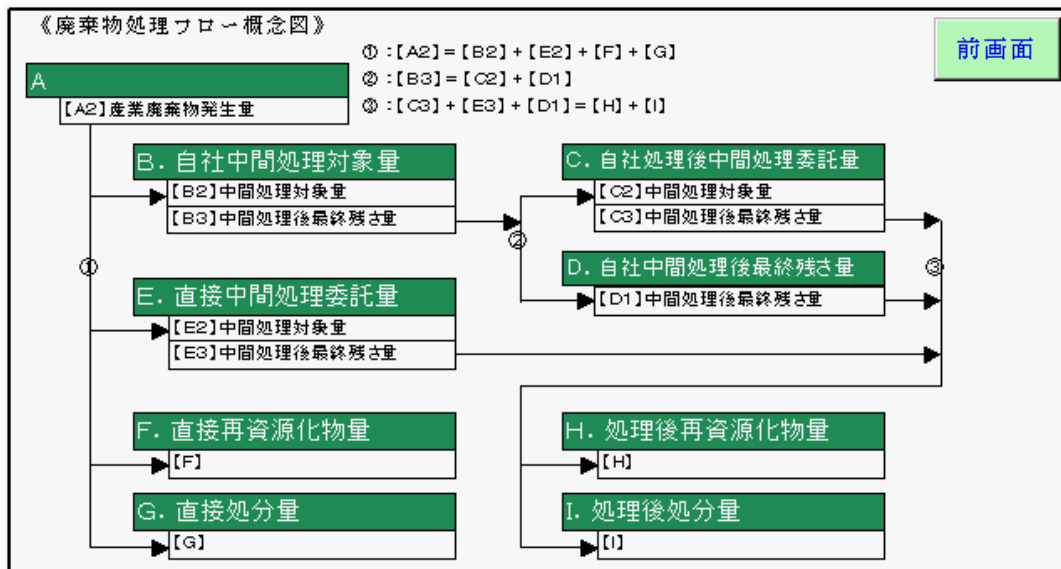
種類	質問	回答
2.調査票の入力	・調査票に入力しようとする と、プロテクトが掛かっ て入力出来ない。	紙イメージの調査票A（「A-01」シート）と調査票Bのフロー図（「B-01」シート）は、入力したデータを表示するためのもので、直接入力する事は出来ません。 初期画面から「調査票作成」ボタンをクリックしてデータを入力して下さい（詳細は、説明書をご参照下さい）。
	・データを入力したのに、登録したデータが残らない。	データを入力後は、必ず登録ボタンをクリックして下さい。
	・データを入力して登録したのに、登録したデータが残らない。 (その1)	登録した調査票Aのデータは「SheetA」シートに、調査票Bのデータは「事業所_x」シート（x:事業所の登録番号）に保存され、紙イメージの調査票A（「A-01」シート）と調査票Bのフロー図（「B-01」シート）には保存されません。従って、これらのシートが複数枚作成される事は有りません。
	・データを入力して登録したのに、登録したデータが残らない。 (その2)	データ入力中に登録ボタンをクリックしていても、システム終了画面で保存ボタンをクリックして終了しないと最終的にはデータは保存されません。キャンセルボタンをクリックするとデータは保存されないままシステムが終了します。システム終了ボタンをクリックしたあとのデータ修正は保存を選択後再度ファイルを立ち上げての作業が必要です。
3.調査票の表示と印刷	・調査票Bのフロー図が1つしか表示されない。	調査票Bのフロー図は、廃棄物を変更する度に表示内容が書き換えられるシステムです。複数の廃棄物のフロー図は残りません。
	・調査票の印刷は、どのようにするのか？	入力したデータの印刷は、まず調査票Aは「調査票A表示」ボタンを、調査票Bは廃棄物を選択して「フロー図表示」ボタンをクリックして紙イメージの調査票を表示後、エクセルの印刷機能を使用して印刷します（詳細は説明書19頁参照して下さい）。印刷した内容は残らないので、事業所毎（廃棄物毎）に表示させて印刷して下さい。
4.データの修正	・データを修正したいのですが、「A-01」シートと「B-01」シートのデータをどのように修正したら良いですか？	「A-01」シートと「B-01」シートでのデータの修正は行えません。データの修正は、初期画面の「調査票作成」ボタンをクリックして表示される調査票Aの入力画面と、調査票Bの入力画面で行います（詳細は、説明書17と35頁をご参照下さい）。
5.集計表の表示	・集計表に数字が落とし込まれないのは何故ですか？	集計表の表示は、初期画面の「調査票作成」ボタンをクリックして表示される画面の「会社集計」ボタンか、事業所を選択した後に「事業所集計」ボタンをクリックする事で、集計表が表示されます。



## 9. 概念図の表示

初期画面で「概念図参照」ボタンをクリックすると、廃棄物処理フローの概念図が表示されます。

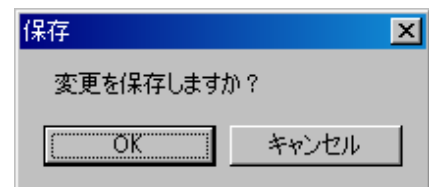
初期画面に戻る場合は、画面右上の「前画面」ボタンをクリックして下さい。



画面 9-1 廃棄物処理フローの概念図（製造業、電気業、ガス業用）

## 10. システムの終了

初期画面で「終了」ボタンをクリックすると、保存確認メッセージが表示されます。データを入力、変更した場合は必ず「OK」ボタンをクリックして下さい。作業用ファイルが保存されてシステムが終了します。「キャンセル」をクリックすると、システムを起動後に入力と変更を行ったデータは保存されずシステムが終了します。システムを起動する前の状態に戻したい場合のみ、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



画面 10-1 保存確認メッセージ

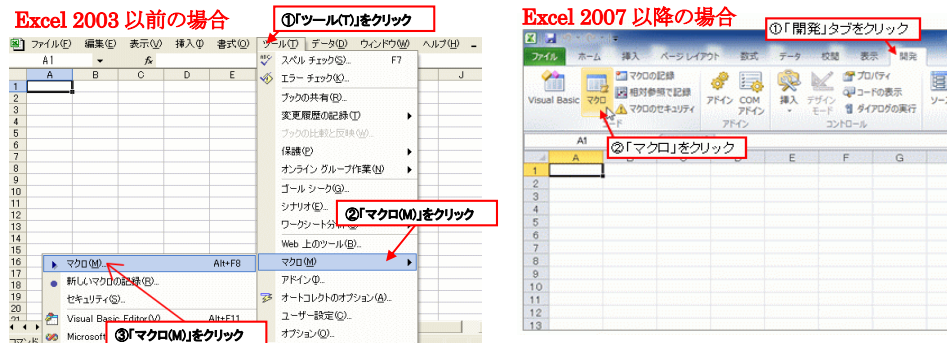
## 11. 参考

### 11.1 集計表のオーバーフロー対策

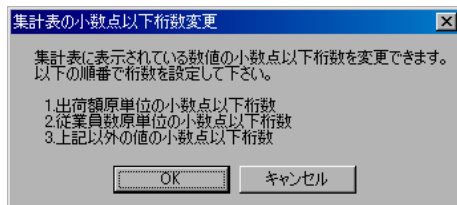
集計表に表示される値の桁数が大きいために数値を表示できず「#####」と表示された場合等、以下の手順で小数点以下の表示桁数を変更して下さい。不都合が無い場合は、以下の操作を行う必要は有りません。又、一度設定した表示桁数は、再度修正しない限り保持されます。

まず、「前画面」ボタンをクリックして調査票A入力画面へ戻り、さらに「終了」ボタンをクリックして初期画面に戻り、調査票作成を一旦終了します。次に画面下部に表示されているシート名「集計表」をクリックして集計表を画面に表示させます。

その後、下記の要領でエクセルのマクロ実行画面（画面 11.1-1）を表示させます。

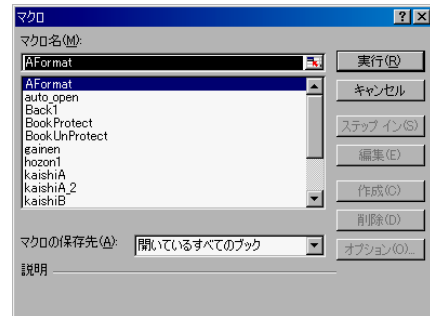


表示されたマクロ実行画面のマクロ名が「Aformat」である事を確認後、「実行(R)」ボタンをクリックすると、表示桁数の変更メッセージが表示されます。（画面 11.1-2）

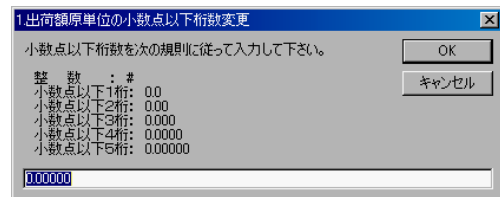


画面 11.1-2 表示桁数変更メッセージ

「OK」をクリックして下さい。表示桁数を表す形式の文字列を入力するボックス（画面 11.1-3）が表示されます。



画面 11.1-1 マクロ実行画面



画面 11.1-3 表示桁数変更ボックス

表示桁数を表す文字列の入力は、出荷額原単位、従業員数原単位、それ以外の値の順に、次の文字列を入力します。

- ・ 整数 : “#”
  - ・ 小数点以下1桁 : “0.0”
  - ・ 小数点以下2桁 : “0.00”
  - ・ 小数点以下3桁 : “0.000”
  - ・ 小数点以下4桁 : “0.0000”
  - ・ 小数点以下5桁 : “0.00000”
- (桁区切り付き整数 : “#, ###”)

文字列の入力位置には、デフォルトの文字列が表示されているので、変更したい桁数を表す文字列に修正後、「OK」ボタンをクリックすると桁数が変更されます。

以下に、出荷額原単位の桁数を小数点以下2桁（文字列“0.00”）、従業員数原単位の桁数を小数点以下2桁（文字列“0.00”）、それ以外の値を桁区切り付き整数（文字列“#,###”）に変更する手順を例として示します。

1. 出荷額原単位の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

0.00000

OK

キャンセル

① 出荷額原単位のデフォルトの桁数（小数点以下5桁）を示す文字列を表示

1. 出荷額原単位の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

0.00

OK

キャンセル

② 文字列“0.00000”を“0.00”に変更後、「OK」ボタンをクリック

2. 従業員数原単位の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

0.00000

OK

キャンセル

③ 従業員原単位のデフォルトの桁数（小数点以下5桁）を示す文字列を表示

2. 従業員数原単位の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

0.00

OK

キャンセル

④ 文字列“0.00000”を“0.00”に変更後、「OK」ボタンをクリック

3. 上記以外の値の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

0.0

OK

キャンセル

⑤ それ以外の値のデフォルトの桁数（小数点以下1桁）を示す文字列を表示

3. 上記以外の値の小数点以下桁数変更

小数点以下桁数を次の規則に従って入力して下さい。

整数 : #

小数点以下1桁 : 0.0

小数点以下2桁 : 0.00

小数点以下3桁 : 0.000

小数点以下4桁 : 0.0000

小数点以下5桁 : 0.00000

#####

OK

キャンセル

⑥ 文字列“0.0”を整数“#,###”に変更後、「OK」ボタンをクリック

⑦ 表示桁数変更後の集計表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						

## 1 1. 2 登録データの確認

本システムを使用して入力したデータは、調査票Aのデータがシート：SheetAに、事業所別の廃棄物（調査票B）データがシート：事業所\_番号（番号：事業所の登録番号）に登録されます。以下にシート：SheetAと事業所\_番号の一部を示します。

※ 各シートは、画面下部に表示されているシート名をクリックして内容をご確認ください。データが登録されているシートのデータを直接修正することはできません。データ確認後は、必ず画面下部に表示されているシート名「初期画面」をクリックして初期画面に戻ってからデータの登録及び修正作業を行って下さい。

登録番号	事業所名	所在地	住所	都道府県番号	従業員数	業種番号	担当所属
1	宮城工場	981-0900	宮城県〇〇市××1580番地	表2	4	600 2711	総務
2	宮城第2工場	981-xxxx	宮城県××市××番地		4	1000 2711	総務
3	宮城第3工場	981-xxxx	宮城県△△××番地		4	50 2712	総務
4	宮城第4工場	982-xxxx	宮城県□□××		4	500 2714	環境

画面 11.2-1  
「SheetA」シート  
の一部の例

事業所_1	宮城工場	A. 産業廃棄物発生量		B. 自社中間処理対象量		C. 自社処理後中間処理委託量		E. 中間処理委託量	
種類番号	種類名	廃棄物種類番号	発生量 (t/年)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)	中間処理対象量 (t/年)	中間処理後最終残存量 (t/年)
1	廃プラスチック	061	300	100	70	70	15		
2	有機性スラッジ	022	1000	1000	50				
3	廃酸	040	300					200	10

画面 11.2-2  
「事業所\_1」シート  
の一部の例

